

イクレイ・ソウルプラン(ICLEI Seoul Plan) 都市の持続可能な将来に向けた ローカルアクションの世の中の構築 (Building a World of Local Actions for a Sustainable Urban Future)

イクレイ戦略(ICLEI Strategy Cornerstones) 2015-2021

イクレイ・アクションプラン(ICLEI Action Plan)2015-2021



参考訳：イクレイ日本（2015年6月）

目次

2015-2021年の戦略的基礎

イクレイ・アクションプラン2015-2021

- A. 私たちはなぜ活動するのか: 変化する環境に立ち向かう
- B. 変化への対応 – 変化を先導する
 - I. ICLEIの会員: 迅速な行動、大胆な実行
 - II. リーダー同士を結び付ける
 - III. 行動を加速する
 - IV. ソリューションへのゲートウェイ
- C. ICLEI、グローバルな会員を持つ組織
 - V. グローバルな会員を持つことの力
 - VI. 会員に奉仕する: 戦略的に配置されたオフィスにおける高度な専門知識
 - VII. 知識の共有と能力構築
- D. パートナースhipとアドボカシー
 - VIII. ローカルアクションへ向けたパートナーシップ
 - IX. 国際的なアドボカシー
- E. ICLEIの都市アジェンダ: 持続可能な都市に向けて
 - 1. 持続可能な都市
 - 2. 低炭素都市
 - 3. 資源効率性・生産性の高い都市
 - 4. 回復力のある(強靱な)都市
 - 5. 生物多様性の豊かな都市
 - 6. スマートシティ
 - 7. エコモバイル都市(持続可能な都市モビリティ)
 - 8. 幸福、健全、包摂的な地域社会
 - 9. 持続可能な地方経済と調達
 - 10. 持続可能な広域自治体間連携

25年からその先へ

戦略計画2015-2021、すなわち ICLEI ソウルプランは、1,000を超える会員を代表する ICLEI 議会によって、2015年4月12日に韓国のソウル市で承認される。

この計画では、以前の計画の継続と2015-2021年の新たな戦略的イニシアティブが示される。

この戦略計画は ICLEI 会員の関与を表すものであるとともに17のICLEI事務所のイニシアティブの基礎ともなる。それは会員へのサービスの枠組みとなり、パートナーにICLEIのアプローチと優先事項を説明する。

以下の文書は私たちが世界の中で果たそうとする役割のビジョンを定め、私たちの目標、プログラム、活動を示す。

25年にもなるのか？いやまだ25年だ。

ICLEIは引き続き都市の持続可能性のパイオニアとリーダーの両方であり続ける。私たちは斬新な提案を生みだし、革新的なソリューションを求め、新たなアプローチを準備し、新たな問題が発生した時には最初に行動する。

私たちは大胆かつ意欲的であり続ける。私たちは、地方および地域の政府が持続可能性への道を以下に見出せるかを分析する。新たなアプローチ、戦略、ツールを開発するとともに、国内および世界的な議論において声を上げることで、私たちは地方や地域が直面する課題に対応する。

私たちは、会員が都市化の進行という現実に向かい、経済、人口のトレンドの変化に適応し、気候変動やその他の都市の課題の影響に備え、住みやすい都市を創造するのを助ける。私たちは、総合的かつ統合的なソリューションを見出すという私たちの約束を反映する、組織的、戦略的な政策の策定と、計画作りの枠組みに向けて、会員を導く。

持続可能な都市が私たちのビジョンであり続ける。 このビジョンは、意欲的で献身的なリーダー、市民社会、ステークホルダー、パートナーの強力な関与、革新的な企業、寛容で平和的かつ包摂的な市民があって初めて実現が可能である。

都市化、特にアジア・アフリカ諸国におけるそれは、地方と地域の政府が備えておくべき発展の道である。これは、都市人口の増加に対応する居住地区とインフラの計画策定を持続可能性原則と調和して行うということである。

会員に代わって、ICLEIの専門家からなるグローバルチームが、地域のリーダーと実務家、国際組織、国および超国家機関、研究所と学会、民間セクター、NGO、メディアと協力する。私たちがこれを行うのは、グローバルな課題に具体的な改善策を見出すための主要な主体として、都市と地方自治体を位置づけ、定着させるためである。

2015-2021年の戦略的基礎

ICLEI は、長い歴史と無数の実績、強い意欲を持つ、多様かつ強固なグローバル組織である。だが、ICLEI の中核にあるのは、その歴史を通して重視されてきたのは、5大陸にわたるどのイニシアティブでも同様に、**持続可能な都市**だった。

ICLEI の当初の運動とプログラムは、以下を含む広汎なテーマをカバーするように発展してきた。

ICLEIのミッション（使命）

ICLEIの使命は、地域活動の積み重ねを通じて、環境条件に焦点を置きつつ、地球規模の持続可能性の明らかな改善を達成するために、地方自治体による世界的な運動を築き、取り組むことである。

- **グローバルな環境財の管理**。気候、水、生物多様性とエコシステム、大気、土地/土壌、食物、海洋生物、沿岸の健全性を含む。
- **政策イノベーション**。ステークホルダーの関与を伴うローカルアジェンダ21/都市ガバナンス、統合的で循環型の持続可能性管理、グリーン経済、セキュリティ、社会開発を含む。
- **都市計画と管理**。持続可能性管理、土地の利用と開発、気候変動の緩和とそれへの適応、回復力管理、天然、社会、経済、財政資源の管理、調達を含む。
- **インフラの転換**。モビリティ、建築物、エネルギー、水と衛生、情報とコミュニケーション（技術）を含む。



2015-2021年の戦略的基礎

私たちの主要な戦略は、確立された価値観、目標、運用形態を継続し、強化することである。私たちは、革新的で新しいアイデアに積極的に向きあうことと同時に、実証されている優良事例をさらに普及するよう努力する。

会員との、および会員間の協力を強化するために、ICLEIは、

- ◇ ネットワークとプロジェクトの中で会員との協力をさらに強化する。
- ◇ 新たな交流と、メンバー間のプラットフォームを立ち上げる。
- ◇ ICLEIに加わるよう、都市国家、省、州などの地域政府へのオファーを強化する。
- ◇ 中国の都市にICLEIのプログラムとイベントに関与する機会を提供する。
- ◇ 新会員および既存会員に対して会員の期待と貢献を文書化する手配をする。
- ◇ 会員の成果と実績をより一層評価し、共有するシステムとアプローチを提供する
- ◇ 気候変動に関する世界市長・首長協議会（WMCCC）を、地方の持続可能性のための献身と政治的リーダーシップを代表する市長と地方リーダーのための団体に転換する

私たちの全体ミッションに関して、ICLEIは以下を追求する。

- ◇ **持続可能な都市**：引き続き、「持続可能な都市」をビジョンに、持続可能な都市開発という包括的な目標を推進する。私たちは「エコ都市」、「グリーン都市」「スマートシティ」および類似のアプローチを特に重視して支援するが、「持続可能な都市」は、環境的、経済的、社会的開発を総合的、横断的に結合する総合的なビジョンとして維持される。
- ◇ **統合された方針**：統合された方針と管理原則の必要を強調しながら、私たちが会員と協力するさまざまな分野（「私たちのアジェンダ」参照）を強化する。縦割りの発想は時代遅れである。
- ◇ **新たなテーマ**：指導ビジョンに関連する追加のテーマまたはアプローチを取り上げる。例として以下のようなものがある。
 - » **生産的な都市**：都市が搾取的でなく生産的なシステムになることができることを示す。
 - » **都市の食料**：都市の食料と農業についての、地方での行動と協力に着手する。
 - » **共有都市**：市民と企業が品物を共同所有し、借りることを可能にする枠組み作りで会員を支援する。
 - » **スマートシティ**：人を中心としたシステム思考を導入することで物理的な、ガバナンスの、社会的なシステムを最適化するよう、全会員に働きかける。
 - » **都市リスク**：自然、産業、社会、経済の都市リスクに備え、これを評価し、対処することについて、会員を支援する。

私たちがどのように活動するかについて、ICLEIは以下を行う。

- ◇ **私たちの専門知識の主要分野**：私たちの活動の中核的な分野、特に低炭素開発、回復力のある（強靱な）都市、資源効率性、生物多様性とエコシステム管理の中でプログラムやプロジェクトを継続し、加速させる。
- ◇ **都市を率いて社会主流化する**：より多くの都市が目立つアクターになるのを支援し、先導的な都市の協力のための能力を強化し、より多数の熱心な会員に働きかけ、関わってもらうためのさらなる方法を開発する。
- ◇ **同じ考えを持った主体のネットワーク**：100%再生可能エネルギー、化石燃料への投資の縮小、都市農業、スマートシティネットワークを含む、会員間の活動のさらなる協力を立ち上げ、推進する。
- ◇ **地域のアプローチ**：引き続き世界的に意義ある戦略を策定し、関連するツールとアプローチを地域の文化とニーズに適合させる。
- ◇ **実績**：基準設定とデータ収集を行うなど、地方自治体による実績をモニターし、分析するためのさらなる報告ツールを作成する。
- ◇ **グローバルな報告**：さらなる分野における地方や地域の参加、目標、行動と成果を報告するためのグローバルシステムとして、カーボン気候レジストリを拡大する。生物多様性についてまず開始する。
- ◇ **「ローカルアクション」を超えて**：いくつもの主体が協調して持続可能な都市を加速するための方法として、すべての分野の中で、Urban Nexus、垂直統合、多層ガバナンス、都市－地域間協力のようなアプローチを強調する。
- ◇ **共通目標－共同行動**：私たちの多くのパートナーシップ、共同のイニシアティブ、協力プロジェクト、多主体間協力をさらに強化、拡充し、そこで私たちの知識ベース、理解力、実践能力を拡大する。
- ◇ **新たな地方/都市持続可能性提携**：持続可能な都市への移行の鍵として、（2016年のハビタットIII会議に向けて議論中も含め）市民参加、ステークホルダー関与、市民社会関与および複数のアクターの協力の意義を強調するとともに、そうしたプロセスに地方自治体が着手し、これらを推進し、先導する。
- ◇ **持続可能な都市に資金を提供する**：公的アクターの手段と能力の強化を目標に、私たちのアジェンダのすべてにわたって、地方と地域の持続可能性に資金を提供するモデルと手法に焦点を合わせる。

新たな都市アジェンダ

ICLEI は、2016年のハビタットIIIの会議で各中央政府のすべてが以下について約束することを求める。

- » 都市のSDGと持続可能性目標を新たな都市アジェンダの義務的ビジョンとする。
- » 法的および資金的枠組みを提供することで、都市化に取り組む。
- » 指導原則として低炭素で、回復力のある、生産的な、生物多様性およびヒューマン都市の概念を導入する。
- » 地方と地域レベルでのガバナンスを強化する。
- » これらのレベルに十分な資源と能力を提供する。

2015年と2016年のグローバルアドボカシーについて、ICLEIは以下を行う。

- グローバルな気候政策**：2015年にパリで開催される国連気候会議において、自治体のプレゼンスを調整し、私たちの100のTAPプログラムを提示する。私たちは相互活動の中心として地方自治体気候パビリオンを設置し、意欲的な気候目標に同意し、大胆な地方の気候行動を可能にする枠組みを提供するよう各中央政府に強く促す。
- ◇ **ローカルアクション－グローバルな枠組み**：2015年と2016年を、都市の持続可能な開発目標（SDG）の立案、ハビタットIII会議および新しいグローバルな気候体制に影響を与える、特別なアドボカシーの努力のために用いる。このアドボカシーの力は、具体的なローカルアクションと実績から生じる。
 - ◇ **パートナーシップ**：世界的に活動する地方および地域の政府のネットワーク、特にUCLG（都市・自治体連合）、メトロポリス（世界大都市圏協会）、C40（世界大都市気候先導グループ）、R20気候行動地域連合の中での私たちの貢献と努力を強める。
 - ◇ **都市SDGの実施**：都市の持続可能性目標（SDG）を地方での実践に移すために、モデル都市活動をスタートさせる。

ICLEI アクションプラン2015-2021

A. 私たちはなぜ活動するのか：私たちのビジョンの枠組み

変化する環境に立ち向かう

人類の膨張は急速に進行している。世界の人口は1分につき145人増加している—1月では635万人になる。人口は今日の70億人から2050年には96億人に増加すると予測される。

都市化もまさに同じように急速に進行している。都市人口は現在、全世界の人口の54%を占め、年間1.84%の割合で増加している。2050年には、都市人口が60億人を超えると予測され、それはつまり、人類の3分の2が町や市で暮らしているということを意味する。この都市の成長のうちかなりの量がインドと中国で起こり、それぞれ4億400万人と2億9,100万人の都市住民が追加されると予測される。

都市化は、人の都市化、空間の都市化、経済の都市化を含む、包括的で相互に関連した、動的なプロセスを意味している

都市インフラは地域社会への基本的なサービス提供に関連し、経済成長と社会的便益を可能にし、都市の貧困に立ち向かうが、多くの国で都市化によって提起される問題となる。

都市のスプロールと、メガシティとメガ地域へ向かう傾向は、市民の機能単位としての「都市」を抑圧するかもしれない。多くの国々で、都市—農村地域が、私たちが今日知っている都市に置き換わっている。

新たなタイプの都市化が新たなガバナンスのモデルを急増させる。一部の国では、都市や近隣地区全体が、公的機関ではなく、民間主体によって開発、運営されている。

都市型ライフスタイルと増加する人口によって天然資源の需要が増加する結果となっている。急速に発展している国または先進国による、世界で歴史的に不利な条件のもとに置かれた地域（アフリカのような）の資源の獲得が、輸入、輸出双方の側の社会の現場リーダーに、新たな問題をもたらしている。

人口構造の転換—出生率が高く、寿命が短い農村社会から出生率が低く寿命が長い産業/ポスト産業社会への転換によって、世界人口の多くのライフスタイルと期待が変化しつつある。

人口構造の変化には次第に高齢化する社会が含まれる。多くの国で高齢者が最も数の多い人口層となりつつあり、都市地域では社会政策とインフラをこのような展開に合わせて変化させる必要が生じている。長寿命化は病気がちで座りがちな生活の増加と関連する。縮小する社会は地方のインフラとガバナンスに新たな問題を投げかける。

反対に、多くの国で若者が人口の多数を占め、雇用が求められていて、それが人口の他の部分のインフラや生計に影響する可能性がある。

地理経済的および地理政治的影響と、中国、インド、ブラジルといった新興経済国を含む、北半球と南半球の間での開発ダイナミクスは、グローバルなガバナンスと地方のガバナンスに対するアプローチを異なったものにする結果となっている。地球の発展途上経済は、グローバルな環境変化という課題への対応に適応でき、またこれに適した方法での発展へと導く政策を導入する必要がある。

集中と地方分散：私たちは権力とインフラの大規模な集合と集中を目の当たりにしている。しかし同時に、人々が互いに意思疎通し、情報にアクセスし、グローバルにまたローカルに草の根の行動（エネルギーの生産を含む）を組織する可能性が、今以上に手近にあったことはない。

グローバルな環境変化も同様に広範囲に及んでいる。世界的に種が失われる率は、自然の絶滅率より1,000倍から10,000倍高く、この傾向は気候変動に関連した生息地の喪失によって加速すると予測される。安全な飲み水に適切にアクセスできない人が7億8,000万人いて、毎日4,100人の子供たちが水系感染症で死んでいる。大気中の二酸化炭素濃度は産業化前の280ppmというレベルから今日では、これまでの80万年で最高の395ppmへと上昇した。この大気中の過剰な二酸化炭素の90%以上が世界の海洋に吸収され、それによって水中の生物多様性を脅かす酸性化が生じる結果となっている。

気候変動は都市と都市地域に予測不能なストレス要因をもたらす。大気中の二酸化炭素濃度は産業化前の280ppmというレベルから今日では、少なくともこの80万年で最高の400ppm以上へと上昇した。

気候変動に関する政府間パネル（IPPC）が発表した気候変動に関する第5次評価報告書（2014年）によれば、この気候変化は紛れもなく人為的なもので、それを止められるのは人間だけである

気候を原因とする、国と地域の内部での、およびこれを超えた**移住は**、特定の行き先地の人口増と都市化に寄与する。それは同時に、他の場所での人口減少をもたらす結果になるかもしれない。新たな場所で急速に出現している地域社会と都市の移転が、明日の私たちの都市の現実の一部になるかもしれない。

生物多様性と緑のスペースの**喪失**は、気候変動の緩和にとってより深刻な意味合いがある。景観が切り開かれたり開発されたりした場所では、関連の食性の炭素固定能力が失われる。生物多様性と緑のスペースは、気温の抑制（それによってエネルギーの使用が削減される）と極端な事象の影響を減少させるといった、気候変動適応に向けて貢献する重要なエコシステムのサービスを提供する。

人間文明の**環境フットプリント**は持続不可能になってきている。2014年には、人類はその年に自然が再生できるより50%以上も多い資源を使用した。私たちが現在の割合で天然資源を使用し、廃棄物を排出し続ければ、2030年には、私たちのニーズを満たすために地球2個分の資源が必要になる。この「行き過ぎた量」が、私たちが今日直面する最も緊急な環境問題の根源にある。

危機的な傾向に対応する**政府の不能**が拡大していることには、グローバルな多層的ガバナンスのメカニズムの弱体化が伴っている。グローバルな経済情勢は高度に不安定かつ予測不能で、従来の「成長」モデルは有限な天然資源ベースの持続不可能な開発に支えられたものである。

危機にある都市ー危機としての都市

人間の大多数が暮らす場所である都市は、その大部分が高密度に集中している。それは公的および民間の両セクターにおける、グローバルな経済、教育、イノベーション、生産と消費のハブとなっている。

世界経済フォーラム（WEF）リスク2015レポート（第10版）では、「都市化によって、その可能性と影響力のために、このレポートで考察されるほとんどすべてのグローバルなリスクの性質が変わる可能性がある。さらに、都市は多くのリスクが収束するポイントであり、そのために都市自体がグローバルなリスクの間の連鎖反応に特に脆弱になり、グローバルなリスクの間の織り合わせが拡大する。そうしたリスクが都市レベルで現実のものになるときに、どのように織り合わされるかをよく知ることが、都市回復力構築に役立てる事に向けた第一歩である」ことが強調されている。そこでは選ばれた4つの、特に恐ろしい都市の課題が示されている。それはインフラ、健康、気候変動、社会の不安定である。

危機にある都市

都市はその境界外からの資源の流れに高度に依存している。多くの都市が、これからの10年の間に、急速な成長、グローバルなシステムの変化、関連する資源の制約に直面するために、都市は危機にある。

高度に相関しているリスク要因には、都市の失業の増加、ストレス過多な社会支援および教育システム、インナーシティ崩壊の進行と犯罪の増加、大きくなる不均衡と減少しない犯罪のための社会不安、テロリズム、時代遅れで非効率な都市インフラ、システム全体の財務リスク、自然災害、産業の緊急事態、気候変動、エネルギー不安、食料不安、水の不安、流行病、エコシステムの財とサービスの減少と喪失、社会の自然との断絶の増大などが含まれる。

危機としての都市

都市と都市地域が危機にある一方で、都市自体も危機である可能性がある。都市化と都市開発の管理が間違えば、社会に対して、国に対して、さらにはグローバルな環境と経済に対してさえ、リスクをもたらす可能性がある。

B. 変化への対応－変化を先導する

I. ICLEIの会員：迅速な行動、大胆な実行

地球は「都市惑星」に転換しつつある。

グローバルなエコシステムサービスの低下傾向、地球上の人間のフットプリントの過剰によって示される、グローバルな環境変化のペースに対応するために、地方の取組のレベルを大幅に上げ、加速することが求められる。

そうした地方の取組は、都市化の進行、社会の人口構成の変化、貧者と富者の間のギャップの拡大、持続不可能型の経済開発といった、さらなる課題とリンクされなければならない。

従来通りの方法はもはや選択肢ではない。「平均的な優良実践」としての「最先端」なものも選択肢ではない。持続不可能で時代遅れの開発モデルを希望するのではなく、新しい技術的、組織的、財務的、社会的なソリューションに一気に先んじる必要がある。

そのために、政治リーダーと専門家は、新たな持続可能な都市ソリューションを追求しながら、迅速に行動し、革新的かつ大規模に実践しなければならない。

ローカルアクションは、「パイロット」プロジェクトや「ベストプラクティス」の小規模な追随の範囲を大きく超えることが必要である。大規模な行動を促し、資源消費と汚染という現在のモデルから脱皮する、体系的なソリューションが求められる。都市の持続可能性、良好なガバナンスとつながった新たな財務および収入モデルに向けての、この地域主導の意欲を可能にすることが極めて重要である。

ICLEI会員は今、自分たちの都市を以下のような存在に転換することを決断し、プランを策定する。

- 炭素と廃棄物のネットゼロ排出者
- 資源効率性の高い事業を持つ持続可能な地方経済
- 資源消費の増加から切り離された繁栄する経済ハブ
- 閉鎖的な物質循環を行う主体
- フットプリントが持続可能な、繁栄した都市空間
- 全市民に平等な機会とアクセスを提供し、そこでは個人と地域社会の健全と幸福が実現され、豊かな自然が重要なインフラと自然資源の提供者であることが理解され、尊重されている

ICLEI 会員は意欲的な都市が進む道の地固めをし、未来を見据え、その他の都市を導き、鼓舞する。



II. リーダー同士を結び付ける

私たちは、町、都市、大都市政府、郡、省、都市国家および地方自治体組織を含む、地方および地域政府の、成長しつつある**連合体**である。

私たちの会員は、世界中に広がるプレゼンスとグローバルなアウトリーチによって、低炭素で、回復力、適応能力のある、生産的な、持続可能な開発に先鞭を開く。

私たちの**ミッション**は、ローカルアクションの積み重ねによって、環境状況を重視しながら、グローバルな持続可能性における具体的な改善を達成するための、地方自治体の世界中に広がる運動を構築し、これに奉仕することである。

私たちに**求められていること**は、地方レベルでの活動的で献身的な会員を形成し、国際的、地域、国家およびサブナショナルの、地域と地方の政府の連合体とパートナーシップを組むことである。

連合体として、私たちは会員に将来に備えてもらう。「**ローカルアクション**」が私たちの努力を後押しする。私たちは実践を動機づけ、支援し、戦略的な提携の中でリーダーを結び付け、パートナーシップを構築し、イノベーター、科学者、研究者を関わらせ、前向きな地方および地域政府の声を一つにまとめ、持続可能な開発のための複数レベルのガバナンス・プロセスにおける地方のイニシアティブを代表する。

持続可能な都市というビジョンがICLEI会員、行政主体、事務所とスタッフの行動を導く。

持続可能都市は低炭素で、回復力があり、生産的かつ資源効率性が高く、生物が多様で、エコモバイルで、スマートであり、同時に、持続可能な経済と公的調達を主要な手段として用いながら、幸福で、健全で、包摂的な地域社会を実現させるために努力する。

III. 行動を加速する

ICLEIは、持続可能性のための多数のプロジェクト、プログラム、キャンペーン、ネットワーク、パートナーシップの下で協力する会員の、大規模でグローバルな**運動**である。私たちは、参加プロセス、実績の枠組み、プログラム、国際交流、テーマ別のネットワーク、戦略的提携、センターオブエクセレンスー持続可能性における基準を設定し、情報提供することによって、行動・実践志向の都市の活動を支援する。

ICLEIの運動によって、会員の大胆で革新的なソリューションを実践する能力が裏付けられ、潜在的な資金源の扉が開かれ、行動条件が改善される。

IV. ソリューションへのゲートウェイ

ICLEIは一つの機関として、会員が効果的なソリューションを発見し、実行する能力を強化する。

私たちは先進的な**知識**を提供し、地方のリーダー、プランナー、実務家の**能力**を高める。

科学、研究およびイノベーションのハブとの**パートナーシップ**によって、私たちは新たな方法論と技術を前進させ、行動研究と知識プラットフォームによって都市開発理論を探求し、これに取り組み、都市の持続可能性のソリューションを探索し、試験し、共有する。

私たちは、都市イノベーションについての大規模な実践を可能にする持続可能な財務ソリューションを探求し、革新的な手法とツールの開発における創造性と優秀さを立証する。私たちは地方の持続可能性のためのソリューションへのゲートウェイの役目を果たす。

私たちは、範囲と影響がグローバルであると同時に、実践と文脈は地域レベルである、**新世代の非政府組織**である。

C. ICLEI、グローバルな会員を持つ組織

V. グローバルな会員を持つことの力

ICLEI はグローバルな会員を持つ連合体の力を、地域的およびテーマ別の知識プラットフォーム、テーマ別のグローバルセンター、ネットワーク、プログラムとプロジェクトと結び付ける。

グローバルなネットワークとして、私たちは国連や多国間の交渉団体でのアドボカシーの機会を作り出す。私たちは、国際機関や多国籍企業とのものを含む、さまざまなパートナーシップについて、迅速、スマートで、簡単なグローバルなエントリーポイントを提供する。

私たちは会員に奉仕しながら、より広い地方自治体のコミュニティに手を差し伸べ、自治体を私たちの活動に関わらせ、私たちの連合体に加わることへの関心を高める。

新たなイニシアティブ 2015-2021

ICLEI は、

- ◇ 以下を含めて、会員との関わりを強化する。
 - ▶ 会員の少なくとも25%をグローバルなまたは地域のプロジェクト、またはネットワークに関わらせる。
 - ▶ 会員、特に新会員の能力構築のために、定期的なウェブ上でのセミナーを提供する。
- ◇ イノベーションに熱心で、ICLEIに加わる意欲のある世界中の**地方自治体**を招待することで、会員を増加させる。
- ◇ 「持続可能な地域」というICLEIの追加アジェンダ（アジェンダ#9）によって、既存のネットワークとパートナーシップを組み、会員構成を考慮して地域の政府に手を差し伸べる。
- ◇ 新規および既存会員と、会員であることについての期待と貢献を文書化するという**合意**に達する。
- ◇ **南半球**の会員の関わりと、そうした会員に与えられる支援を強化する。
- ◇ **中国の諸都市**にICLEIのプログラムとイベントに関わる機会を提供する。
- ◇ 会費の仕組みへの影響や関わり の程度に応じた、基本または上級タイプの会員またはグローバルおよび地域などの会員資格を含む、**複数レベルの会員資格**の案を作る。
- ◇ 以下を含む、**会員が協力する機会**を新たに作る
 - ▶ 会員内の地域、国、テーマ別のネットワーク
 - ▶ 特徴と課題を共有する（例えば沿岸都市）都市の特定の主題についてのネットワーク
 - ▶ 類似の課題、活動、類似の実績目標を持つ都市グループのワークネット
 - ▶ 新たなウェブまたはITベースの交流システム
 - ▶ プロジェクトやテーマ分野で協力してきた都市のレガシーネットワーク
 - ▶ 自ら組織した、主題別の会員コミュニティへの便宜提供
- ◇ :以下を含む、会員の実際の成果や**実績**をさらに計測し共有するシステムやアプローチを提供する。

全会員にその地方での活動を紹介することを可能にするとともに、関心や目標を共有する他の会員と直接結び付ける、本格的な地方自治体および都市プラットフォームの展開

 - ▶ その成功、ニーズ、関心にもとづいて、新たな機会、プロジェクト、ネットワークについて最新の情報が得られるよう、会員が連絡先や会員の詳細を定期的に維持し、更新する、新たな会員のための堅固な会員管理プラットフォームの提供。
 - ▶ カーボン気候レジストリ（cCCR）のモデルを使った、都市の生物多様性、回復力、水、モビリティその他についての、類似のドキュメンテーションおよび報告システムの構築。
 - ▶ 会員の実績に従った、その成果のグローバルな報告。

- ◇ 以下の目標を満たすために、私たちの**ガバナンス**と管理の仕組みを効果的に活用する
 - ▶ 会員ベースの効果的な仕組みの維持。
 - ▶ 選挙で選ばれる地域理事会または世界理事会メンバーからの効果的な関与の確保
 - ▶ 世界理事会におけるポートフォリオシートによる、テーマ別のリーダーシップやICLEIの代表の強化。
 - ▶ 主題別の委員会やタスクフォースのような、テーマ別のイニシアティブを発展させるための新たな方法の確立。
- ◇ **気候変動に関する世界市長・首長協議会（WMCCC）**を地方の持続可能性についての貢献と政治的リーダーシップを示す、そして、そのための市長と地方のリーダーの団体に転換する。
- ◇ 若い地方レベルの政治家、新たに就任した市長、さらには女性の地方リーダーに、ICLEIの**フューチャーシティーリーダーズ**のような協力的なネットワークを結成することで、持続可能性の問題についての能力を構築し、協力するよう働きかける。

VI. 会員に奉仕する： 戦略的に配置されたオフィスにおける高度な専門知識

ICLEI の事務所（2015年4月）

世界事務局：

ドイツ、ボン

地域事務局：

アフリカ（南アフリカ、ケープタウン）；東アジア（韓国、ソウル）；ヨーロッパ（ドイツ、フライブルグ）；南アメリカ（ブラジル、サンパウロ）：メキシコ、
中央アメリカ・カリブ海諸国（メキシコ、メキシコシティ；オセアニア（オーストラリア、メルボルン）；南アジア（インド、デリー）；南東アジア（フィリピン、マニラ）

国別事務所

カナダ（トロント）、インドネシア（ジャカルタ）、日本（東京）、韓国（スウォン）、アメリカ（オークランド）

その他の事務所：

高雄能力センター、チャイニーズ台北：ブリュッセルEU 連絡事務所、ベルギー、（ヨーロッパ事務局）、インド南部センター、インドのハイデラバード、（南アジア事務局）。

ICLEI は、世界事務局とすべての大陸に戦略的に配置された数カ所の事務所、さらにはサブナショナル、連絡およびプロジェクト事務所および主題別のセンターによって運営される。

ICLEI はミッション、委任事項、グローバルICLEI憲章のもとで事業を行う一方、運営事務所は法的にも運営上も、財務的にも自律的である。

どのICLEI 事務所でも、経験と知識が大きな役割を果たしている。各事務所の活動は多面的で、会員に企業家精神、創造性、政策プロセスの知識、イノベーション、研究、プロジェクト実施能力についての専門知識を提供する。

世界事務局、地域事務局、国別事務所はアフィリエイト合意によって相互に連結され、ICLEI戦略プランの実施に向けて密接に協力して働く、ほぼ300人の専門家のグローバルなグループを形成する。

新たなイニシアティブ 2015-2021

ICLEI は、

- ◇ 既存の事務所を**強化**し、新興経済諸国を重視して、**新事務所**を設立する。
- ◇ 会員がホストとなる**サテライト事務所**を設置し、私たちの国または地域での影響範囲を拡大する。
- ◇ **中国**でプレゼンスを構築し、最初のプログラムをスタートさせる。
- ◇ **ICLEI**内の既存の**テーマ別センター**を拡大・強化し、適切な場合は追加のセンターを設立する。
- ◇ グローバルなプログラムと多面的な協力プロジェクト、スタッフ交流プロジェクト、会員代表の実習生を通じて、引き続き地域をまたがる**事務所間協力**を育成する。
- ◇ 共同出資やサービス提供を料金ベースにすることなどの方策を探り、**財務資源ベース**と組織の健全性を引き続き強化する。

VII. 知識の共有と能力構築

ICLEIは世界事務局とすべての大陸に戦略的に配置された数カ所の事務所、ならびに地方、連絡、およびプロジェクト事務所およびテーマ別のセンターを通じて運営される。

ICLEIはミッション、委任事項、グローバルICLEI憲章のもとで事業を行う一方、運営事務所は法的にも運営上も、財務的にも自律的である。

どのICLEI事務所でも経験と知識が大きな役割を果たしている。各事務所の活動も多面的で、会員に企業家精神、創造性、政策プロセスの知識、イノベーション、研究、プロジェクト実施能力についての専門知識を提供する。

世界事務局、地域事務局、国別事務所はアフィリエイト合意によって相互に連結され、ICLEI戦略プランの実施に向けて密接に協力して働く、ほぼ300人の専門家のグローバルなグループを形成する。



新たなイニシアティブ 2015-2021

ICLEIは、

- ◇ **地方自治体のリーダーと意思決定者**に、変化を動機づける努力を強化し、実務家と実行者に、ツールと経験の交換を通して能力を提供する。
- ◇ さまざまな手法、ツール、技術的ソリューションを提供することで都市の実績を捕捉し、その後でこの情報を利用できるようにするために、体系的な**知識管理**を整備し、拡大する。
- ◇ グローバルな優良実践を生みだし、よりアクセス可能にするため、**ウェブベースのシステムの中でローカルアクション**についての情報を提供する
- ◇ パートナーの知識を利用し、ICLEIが会員に提供するサービスと知識の幅を向上させるために、パートナーのプラットフォームとシステムとの相互リンクを追求する。
- ◇ まずは低炭素開発から始まる選ばれた分野で、「**都市ソリューションへのゲートウェイ**」を提供する。
- ◇ 変化についてのリーダーシップ開発、良好なガバナンスの推進、ピアレビュー、ジェンダー、若者のリーダーシップの支援、発展プロジェクトについての理解を増進するために、**都市の持続可能性のための地域のリーダーシップ**に注目した、会員への関連の製品とサービスを含む、調査、開発と能力構築プラットフォームに、パートナーとともに着手する。
- ◇ 持続可能性についてのイニシアティブのためのさまざまな資金源からの**資金提供**へのアクセスに関連する、地方自治体の能力を支援する手引きとツールを作成する。
- ◇ **異文化間交流**についてのモジュールを提供する。
- ◇ 十分に確立された**大学や研究機関との関係**を維持することで、科学に関する、および調査の能力をさらに拡充し、最新の調査を直接会員やその他の地方自治体に提供するために、このネットワークを成長させる。
- ◇ 持続可能な変化のために都市が何を必要としているかについての私たちの知識を用いて、**科学と直接的な調査について知らせる**。
- ◇ ローカルアクションとその影響についての**最先端のレポート**の刊行と、またはそこへのインプットの提供を続ける。

概要説明シート、ケーススタディ、グローバルレポートの刊行を増やす。

D. パートナースhipとアドボカシー

既存のパートナーシップには以下のようなものがある

- » 地方および地域政府組織
- » 国連機関と国際機関
- » 金融機関
- » 調査、専門家、能力構築機関。
- » 市民社会、NGO
- » 企業
- » メディア

VIII. パートナースhip

ICLEIはリーダーたちを結び付ける。私たちは創造性とイノベーションを解き放つパートナーシップ、関係、相乗効果を育成し、強化し、確立する。

私たちはパートナーと共に、目標に到達し、会員にパートナーのサービスと資源へのアクセスを与えることを目指す。

これらのパートナーシップは、グローバル、地域、国などのさまざまなレベルで確立される。その一部は「覚書」や類似の約款という形で正式なものになる。その他はイベント、プロジェクト、共同の行動の支持を通して見ることができる。

私たちは引き続き都市、地方自治体、地域およびサブナショナル政府とそれらの連合体を、国連その他の国際機関、金融機関に結び付ける。

新たなイニシアティブ 2015-2021

ICLEIは、

- ◇ この戦略プランで概略が示される、分野的、戦略的な優先事項を中心に、グローバルにも地域的にも、**新たなパートナーシップ**を構築し、活性化する。
- ◇ 引き続き、都市、地方自治体、地域およびサブナショナル政府およびその連合体を、**国連**およびその他の国際機関と結び付ける。
- ◇ 全会員のために、調査機関、専門家組織、企業、NGO、メディアとの**知識パートナーシップ**を強化、拡大する。
- ◇ 持続可能な、エコ効率のよい、低炭素の、回復力のある（強靱な）都市インフラについての、**都市と企業**の間の対話と協力のファシリテーターとしてのICLEIの役割を示すために、既存の対話のためのイベントプラットフォームを利用し、さらに発展させる。
- ◇ グローバルおよび地域的な**金融機関**、多国家間機関、慈善組織との協力とパートナーシップを強化する。
- ◇ 持続可能な都市の意図と改善された実績測定システムを、将来基準と規範の中に定着させるために、**国際的な標準化推進主体**との協力を深める。

IX. 国際的なアドボカシー

行動志向のアドボカシーによって、ICLEIは、持続可能性についてのグローバルな努力に積極的に貢献し、そこでは地方と地域の政府が政府ステークホルダーとして認識され、関与させられ、権限を与えられている。

ICLEIは、都市と地方および地域の政府が持続可能性目標と関連の実施枠組みを定めることを目指す、国際的、地域的および国家的政治プロセスと関わるための、グローバルなエントリポイントの役割を果たす。

ICLEIは、多レベルの行動間での相乗効果と補完関係を期待して、国家間以外の他レベルの政府の、国連およびその他の国家間組織における、体系的な、構築された関与の向上のためにアドボカシーを行う。



ICLEIのアドボカシーでは4つの主要なステージが重視されている

国連総会での働きかけのプロセス：2002年以来承認された国連経済社会委員会の特殊諮問資格と地方機関主要グループの公式パートナーとしての権限によって、ICLEIはアメリカのニューヨークの国連本部とスイスのジュネーブで開催される定期的な交渉セッションならびに、政府間会議の準備プロセスと、関連する国連の地域会議に出席する。これに加えて、国連事務総長の特別イニシアティブと国連総会議長の招待に、必要に応じて対応する。

国連機関と政府間組織：総会で達成された政治的コンセンサスと戦略的ガイダンスの実施は国連の専門機関とプログラムを通して行われる。これらのそれぞれの機関には独自の意思決定プロセスと実施メカニズムがある。ICLEIはこれらのプロセスに承認されたオブザーバーとして、および具体的なパートナーシップ協定によって参加する。ICLEIが提携する主要機関には、国連環境計画（UNEP）、国連人間居住計画（HABITAT）、国連国際防災戦略事務局（UNISDR）、地球環境ファシリティ（GEF）ならびに世界銀行、経済協力開発機構（OECD/国際エネルギー機関（IEA）、国際標準化機構（ISO）、国際自然保護連合（IUCN）その他の機関がある。

多国間の環境合意：1992のリオサミットでは結果的に3つのリオ条約が生まれた（すなわち、気候—国連気候変動枠組条約（UNFCCC）、生物多様性—国連生物多様性条約（CBD）、砂漠化—国連砂漠化対処条約（UNCCD））。ICLEIは、公認のオブザーバー組織、実施パートナーとしての資格およびフォーカルポイントの役割で、それらの実施と交渉の前進に貢献する。ICLEIはその仕事を持続可能性に関連したその他の合意にまで拡大することも求めている。

地方およびサブナショナル政府のグローバルなアドボカシー：自身の個別の関わりに加えて、グローバルなプロセスへのより調整された協調的な対応を作り出すために、ICLEIは他の地方およびサブナショナル政府とその他のパートナーのネットワークの間のグローバルな連携の構築と先導にも貢献する。現在こうした活動で焦点となっているのは、気候、生物多様性、ポスト2015開発アジェンダである。

この枠組みの中で、ICLEIのアドボカシーの仕事には以下が含まれている。

- a. 地方およびサブナショナル政府のリーダーの代表と職員に対する**動機づけ**
- b. 書面による提案、ポジションペーパー（公式見解）、直接的な介入、サイドイベントや地方自治体サミットの開催などによる、交渉への**インプット**提供。
- c. 「都市の友」のような非公式グループを通じた、中央政府の交渉担当者との活発な**対話の先導**
- d. フォーカルポイントおよび公式パートナーとして先導する、政府間機関との対話と協力による、地方機関の主要グループの**橋渡し**
- e. 対象プロジェクトの**実施**と地方およびサブナショナル政府、さらには他の主要グループとステークホルダーのパートナーネットワークとの具体的連携

これらのプロセスのすべてにわたって、ICLEIのアドボカシーの立場はグローバルな会員組織のネットワークからのインプット、ローカルアジェンダ21を通じた固有の経験、その都市アジェンダを通じた地方レベルでの持続可能性の実施におけるプログラムに従ったアプローチ、および特に地方の持続可能性の管理、気候変動、生物多様性、回復力、水とエコモビリティの分野で特に先進的である、計測可能、報告可能、評価可能なローカルアクションについての自身のイノベーションの上に築かれる。

2015-2021年の活動

ICLEI は、

- ◇ 可能なときにはいつでも、他のグローバルな地方および地域政府の連合体と協力して、世界中の地方および地域政府のために私たちの**アドボカシー**の仕事を継続し、拡大する。
- ◇ 覚書による都市・自治体連合（UCLG）との協力を推進させ、グローバルなアドボカシーを最適化する。
- ◇ ニーズ主導の地方の持続可能な開発を可能にし、支援し、さらには、既存の資金提供に対する現在の障壁を克服する、新規または**追加の資金提供**のためにアドボカシーを行う。

国連総会の働きかけのプロセスについて

- ◇ 国際連合経済社会理事会（ECOSOC）、ハイレベル政治フォーラム、国連環境総会および、グローバルなものとの地域的なものの双方についての、すべての関連会議を含むすべての国連プロセスのグローバルな体制の中での、**政府ステークホルダーとしての地方およびサブナショナル政府**の適切な代表を可能にする、地方機関主要グループの位置取りを強化するための革新的な選択肢を作成し、これがリオ+20結果文書のパラグラフ42に述べられるビジョンに従って、また関連の国連機関を受け入れているICLEI会員都市との強化されたパートナーシップを通じて行われる。
- ◇ 2015年9月に結論が出される予定の**ポスト2015開発アジェンダ**の交渉の中で、そして2016年10月にキトで開催される予定の**ハビタット-III**の会議に関連して、全体論的で、包括的で、参加的で、意欲的で、垂直に統合された都市レベルでの政策が、すべてのレベルで強化された技術的、組織的、財務的資源へのアクセスに支援されて21世紀の都市世界におけるグローバルな持続可能な開発の課題に対する実行可能なソリューションとして展開されることが可能になるように、転換のための地方の活動を通して持続可能性を**グローバル化**するために、都市と人間居住についての**単独の持続可能な開発目標**についてアドボカシー活動を行う中で**積極的なリーダーシップ**を示す。
- ◇ 引き続いて**首長誓約（Compact of Mayors）**、**国と地域の誓約（The Compact of States and Regions）**、その他の7つの関連のイニシアティブを含む、国連事務総長がホストとなった気候サミット2014の結果を支援し、さらに、データ革新についての彼の努力との積極的な対話を展開する。

国連機関と政府間組織について

- ◇ **国連環境計画（UNEP）** について：エコシステム/地域社会ベースの適応、持続可能な調達を含む持続可能な消費と生産、資源効率性、グローバルな環境の展望、地球環境概況報告書およびUNEPライブデータポータル、国連環境会議での地方およびサブナショナルリーダーの顕著な関与を重視した具体的な結果を含む、更新された覚書によってパートナーシップを強化する。
- ◇ **国連人間居住計画（UN-HABITAT）** について：ハビタット-IIIの協議の中で、国連システムとの協力の強化を図る。これによって、会員都市へのサービスが向上され、ハビタット-IIIの後の国連ハビタットの新たな機構構造にもとづいて、新興国都市のための低炭素開発戦略事業（Urban-LEDS）のような、プロジェクトレベルのパートナーシップを通じて協力が拡大され、国連地方自治体諮問委員会（UNACLA）を、Rio+20 結果文書24パラグラフの実施を支援する、国連システムの中での、新たな、より包括的で効果的なプラットフォーム/プロセス/機構に発展させることができる。
- ◇ **国連国際防災戦略事務局（UNISDR）** について：2015年3月に仙台で開催され、第2段階の兵庫行動枠組み（HFA；Hyogo Framework of Action）が作られることになっている、第3回国連防災世界会議の結果に基づいて、特に、都市を回復力あるものにする10の要点（Ten Essentials of Making Cities Resilient Campaign）とダーバン適応憲章（Durban Adaptation Charter）、さらにその他の関連のイニシアティブとの効果的な調整を通じた、災害リスクの軽減と管理および気候適応について地方レベルでの相乗効果を確保し、災害に強い都市会議（Resilient Cities Congress）を、HFA-2実施の進捗を地方レベルでモニターし、検討する、毎年の会議として位置付ける。
- ◇ **他の機関について**：ICLEIと会員にとっての重要なリソースをGEF 持続可能な都市総合アクションプログラムを通じて結集し、持続可能なコミュニティ（TS268）とGHG 管理（TS207）についての国際標準化機関の作業への関与を強め、経済協力開発機構（OECD）、国際エネルギー機関（IEA）、国際再生可能エネルギー機関（IRENA）、国際連合食料農業機関（FAO）、国際自然保護連合（IUCN）、世界銀行、提案された BRICS グループの新たな資金提供機関、世界水フォーラム、との組織的パートナーシップを構築/向上する。

多国間環境合意について

- ◇ **気候/UNFCCC**：引き続き地方自治体のフォーカルポイント、市政機関支援団体の後援団体として活動し、その位置取りの改善、気候変動影響への適応を強化するための回復力ある都市会議（Resilient Cities Congress）、ダーバン適応憲章を通じたUNFCCC事務局との非国家主体気候変動活動（NAZCA）プラットフォームまたパートナーシップの強化、ならびに、カーボン気候レジストリの、はその関係のイニシアティブについてグローバルおよびサブナショナルの気候行動の、主要な情報源としての位置付けを目指し、UNFCCC の枠組みの内外で、すべて2015年12月開催予定のパリ気候変動会議の結果を考慮したさらなる精緻化に従って、10カ年転換行動プログラム（10-years Transformative Action Programme）（TAP）の効果的な実施のために努力する。
- ◇ **生物多様性/CBD**：資源の利用可能性に基づく職員の派遣の継続を含む、覚書の効果的な実施を通じて、CBD事務局との戦略的パートナーシップを拡充し、2020年の名古屋10年計画の結果によって、ICLEIと会員にとっての安定したリソースとの、長期的で戦略的な実施パートナーシップを確保する。
- ◇ **砂漠化/UNCCD**：干ばつ、生物多様性、エコシステム/地域社会ベースの適応、食料安全、都市ー地域食料および開発政策、土地の喪失による地域社会の移転という状況の中でのICLEIの関与を拡充し、関連のプロジェクトを展開する。
- ◇ **その他**：廃棄物と化学資源管理に重点を置くもののような、その他の多国間環境合意とのICLEIの関わりを、資源の利用可能性に従って、都市アジェンダを通じたICLEI の仕事にもたらす明らかなメリットによって、検討する。



- ◇ **地方自治体気候ロードマップと首長誓約**：引き続きロードマップの推進者として活動し、首長誓約と気候アドボカシーの仕事との間の相乗効果を向上させ、カーボン気候レジストリを首長誓約の中心的な保管場所として確保し、引き続き世界の地方およびサブナショナルの主導的な気候報告プラットフォームとしてリードし、2015年12月に開催される国連パリ気候変動会議の結果を考慮して2016年にロードマップの戦略を改訂し、TAPプログラムの実行を強化する。
- ◇ **ハビタットIIIに向けたポスト2015開発アジェンダのための地方および地域政府のグローバルタスクフォース**：都市・自治体連合（UCLG）とともにこのプロセスの共同主導者としてのICLEIの位置付けを確実にし、2016年10月のハビタットIII 会議の結果を考慮して、可能性を探る
- ◇ **都市の持続可能な開発目標（Urban SDG）**：ICLEIの都市アジェンダを通したプログラムにもとづいた作業を、計測可能で、報告可能で、評価可能な、持続可能性についてのローカルアクションについてのグローバルな普及の主要なチャンネルと位置付けるというビジョンを持って、持続可能なソリューション開発ネットワークおよびその他のパートナーとの対話を向上させることで、キャンペーンを引き続き支援する。
- ◇ **新たな国連の開発アジェンダの中における持続可能な都市と地域のCommunitas Coalition**：都市の持続可能な開発目標のテストベッド（試験用プラットフォーム）として活動する具体的プロジェクトの探索によって中核的なパートナーとしてのICLEIのリーダーシップを拡充し、ニューヨークでの国連へのアドボカシーを強化する。
- ◇ **地方自治体生物多様性ロードマップ**：地方およびサブナショナルのボトムアップのアドボカシープロセスがCBD事務局の仕事と当事国の会議に反映されるよう、このコンセプトを再活性化する。
- ◇ **世界水フォーラム（2015）**の結果におけるサブナショナルアクターの役割を定着させる。



E. ICLEIの都市アジェンダ

VII. ICLEIの都市アジェンダ

都市の持続可能性についてのこれからの数年で最も緊急で今日的な課題に対応して、ICLEIは、地方およびグローバルなレベルでの持続可能性を確保するために集合的な行動が必要な優先行動分野である、10のアジェンダを決定した。

10のアジェンダのそれぞれは、都市が困難なグローバルなトレンドと資源制約によって形づけられる将来に備える必要があり—そして、都市の実績は、2050年までに都市に住むようになる60億以上の人々の生活状況を決めるだけでなく、エコシステムと経済の状況をもグローバルに決めることになるという現実を反映している。

テーマ別の都市アジェンダのすべてにわたって、会員が以下についてプラスの影響を作り出すのを私たちは援助する。

- 会員が奉仕する人々：社会および文化的な福利を向上させることで
- 会員が活動する場所：グリーンで、包摂的で生産的な経済の醸成を通して繁栄を確保することで
- 会員が大事にする惑星：惑星境界を尊重するタイプの開発を導くことで
- 会員が統治する政策：参加的で統合されたメカニズムを実施すること、都市—農村の連続体を大事にすること、垂直方向の統合を追求し、政府ステークホルダーとしてグローバルな努力に参加することで

10のアジェンダのそれぞれについて、決定と政策の策定、管理とガバナンス、公的支出と市民参加に関して、会員が戦略的かつ政治的に注目することが求められる。ICLEIの会員は、ICLEI内のこれらのアジェンダのいずれかのもとで、地方および地域のイニシアティブを作り出し、またはこれに関わることを要請される。

これらのアジェンダは相互に関連しており、実施に当たってICLEI会員の行動を導くものでなければならない。

アジェンダは、そのすべてが持続可能な都市の創造に向かって貢献する、地方の活動の触媒となり、これを支援する。アジェンダではまた、地方の仕事と成果を国際的スケールで知らせ、ローカルアクションの一層の強化を可能にする枠組み条件を要求する、ICLEIの努力についても触れられている。

一組織として、ICLEIはこれらの努力を推進し、支持し、会員がこれらのアジェンダの目標を達成するのを助ける。

ICLEIの10のアジェンダ

- » 持続可能都市 – 全体目標
- » 低炭素都市
- » 回復力のある都市
- » 資源効率性の高い生産的都市
- » 生物多様性都市
- » スマートシティ
- » エコモバイル都市（持続可能な都市モビリティ）
- » 幸福で、健全で、包摂的な地域社会
- » 持続可能な地方経済と調達
- » 持続可能な都市と地域の連携

ICLEIはどのように仕事をするのか： アジェンダを実施するための私たちの戦略

ICLEIはどのように仕事をするのか：活動と行動の種類

地方自治体に行動の準備をさせる

- » コミットメントプログラム
- » テーマ別のリーダーシップ

ローカルアクションの支援

- » 地方行動プログラム
- » 方法論、ツール、ガイドブック、ケーススタディ
- » 行動のイノベーションと新たな様式
- » ネットワーク作りと結び付け
- » 能力構築、交流プラットフォーム
- » イベント、一連の会議
- » ソリューションへのゲートウェイ
- » 機関の機能、ヘルプデスクとコンサルタント業務
- » 実績の計測と評価

グローバルおよび地域のプロセスの中での政策とアドボカシー

- » 諮問機関の中のICLEIの専門知識
- » アドボカシー
- » 提携とパートナーシップ

コミュニケーション、メディアの仕事とアウトリーチ

- » 会員とパートナーに知らせるためのICLEIメディア
- » メディアの仕事、ソーシャルメディア

それぞれのアジェンダについて、またICLEIのそれぞれの仕事の分野について、私たちは具体的な戦略的なアプローチを展開してきた。ここでは、グローバルな仕事と地域的な仕事の組み合わせ、自身の手法とツールを展開する程度、またはパートナーとの協力の仕方が触れられる。



1. 持続可能な都市

持続可能な都市は、既存の人口のために、将来の世代が同一のものを経験する能力を損なわずに、環境的、社会的、経済的に健全で回復力のある居住環境を確保する。目標となるのは総合的かつインクルーシブな方法での持続可能性である。

持続可能な都市は、他を犠牲にして一つの目標を満たすという断片的なアプローチによって課題に取り組むのではなく、セクターを越えて政策を統合し、環境的、社会的目標を経済の潜在能力と結び付ける。

持続可能な都市は、統合された都市ソリューションと意欲的な改善目標に全力を傾注し、長期プランを策定し、自らの持続可能性ビジョンの立案と実施のために、市民、ステークホルダー、同僚と関わる。

持続可能な都市は、その発展と達成の基礎として民主的で参加的なガバナンスモデルを活用し、私たちの共通な都市の未来のための、強力かつグローバルに結び付けられた地方のリーダーシップを推進し、それを可能とする。

そこでは目標が実施され、環境的、社会的、経済的イノベーションの結果の間の相乗効果が強調されながらお金が賢く投資される。

私たちのビジョン:

ICLEIの全会員は持続可能な都市であることを目指して開発する。

会員はこのビジョンを実行し、低炭素で、回復力があり（強靱な）、生産的で資源効率性が高く、生物多様性があり、エコモバイルで、スマートな都市へ向けて、すべての総合的かつ相互に関連した機会を捉えてその資源を投じ、同時に持続可能な経済と公的調達を主要な手法として用いながら、幸福で、健全で、包摂的な地域社会の実現に努力する。

このビジョンに到達するためのICLEIのアプローチ

ICLEI は、この25年にわたって、持続可能な都市、エコシティ、グリーンな都市という考えを会員に普及させてきた。

- **総合的かつ統合的な** : ICLEI は、組織的で、統合され、相互に結びつけられた都市開発を可能にする、政策デザインと実施を推進する。私たちは都市の持続可能な開発目標を提唱し、Urban Nexusの機会、統合された都市開発計画、コンパクトで住みやすい都市のためのコンセプト、中央業務地区についての新たなビジョンの周辺の先駆的なソリューション、都市更新プログラムを可能にし、同時に非公式性と中央業務地区と相互にリンクされた都市地域についての新たなビジョンを採用する。
- **先導的でグローバルな都市ネットワーク** : ICLEI は、すべての都市居住の形態における、革新的、現代的、持続可能かつ統合された開発戦略についての、認識の向上と能力構築のために働く、最初のグローバルな組織である。
- **高い基準の設定に挑戦する地方自治体** : ICLEI 会員は、革新的な都市ソリューションを実行するために自分自身と他者に対して挑戦する。彼らは将来のグローバルなトレンドについての地方のパイオニアであり、新たな政策概念、法的および組織的な改革に取り組む先駆者の一員として、急速な都市の変化に対する慣例にとらわれない対応への要求の先頭に立つ。
- **地域リーダーのネットワーク** : この地球で最も意欲的で先進的である地方自治体は、会員であることを誇りにし、すべての形の都市の困難な問題に集団的に取り組むよう、彼らを、同時に、支援し、押しやり、身をさらさせる組織として、ICLEIを認識するようになる。
- **フォロワーを元気づける** : 最新かつ革新的な政策を文書化し、普及し実行可能にし、ソーシャルメディア、革新的な対話、私たちの地域および国事務所から提供されるその他の媒体を通じて、それを主流に持ち込むために働く。
- **基準と実績指標への先導** : ICLEI は、その地方の状況の中では、持続可能な都市とは、グリーン都市とは、エコシティとは、エコ地区とは何かを、世界中で実際に示すプラットフォームを創設し、都市の持続可能性についての

議論を推進する。私たちは、進捗と成功の計測が可能な基準の開発を支援することで、こうした努力を一層進める。

- **開発に先んじる**：ICLEIは、資源搾取的で炭素志向で、リスク受容型であることがはっきりしている、時代遅れの開発に成長のモデルが一気に先んじることで、急速に都市化する区域が持続可能な都市、エコシティ、グリーン都市の考えを追求することを可能にする。

持続可能な都市に向けた新たなイニシアティブ 2015-2021

ICLEIは、

- ◇ 先進的な持続可能な都市/エコシティ/グリーン都市の間の交流と協力のためのメカニズムをさらに進展させる。
- ◇ エコシティの発展に向けてし、刺激を与え、助言するために、「実績がトップのエコシティ」から成るメンター（指導グループ）を設立する。
- ◇ 「地域社会の持続可能な開発データー都市サービスと生活の質についての指標」についてのISO 37120:2014基準に沿ったデータ収集についての、世界都市データ評議会（World City Data Council）との協同プロジェクトを調整し、2015年末までに100会員の参加を目標とする。
- ◇ 最も効率的で具体的な行動が確実に行われるよう、**実績計測**と比較報告のしくみを構築する。これを充実させるために、主題別の「都市状況報告」が提案され、作成される。
- ◇ トレンドを分析し、トップの実績を挙げた者の成功を讃えるために、過去のデータを組み込んで、長期にわたって地方自治体の実績を計測する。
- ◇ 都市開発、都市サービスの提供、エネルギー、水、食料の管理、さらには持続可能な都市インフラの推進、グリーン経済、住みやすく、包摂的な都市についての**統合的なコンセプト（アーバン NEXUS）**についてのプログラム枠組みを強化する。
- ◇ 中国から生まれた**エコ文明化**という概念が、特に新興国において都市化プロセスの計画作りをどのように支援できるかについて、会員の間での議論を推進する、
- ◇ 数都市をモデル都市とし、迅速な普及を可能とするプログラムの発足など、新しいグローバルな**持続可能な開発目標（SDG）**を地方レベルで現実にする努力の先駆者となる。
- ◇ **ハビタット III（2016年10月）**に向けたプロセスに従事し、シンクタンクを助けて、コンセプトとプロポーザルの作成、対象の地方および国際的な活動を行う。
- ◇ 市民とステークホルダーを地方の持続可能性に集中的に含めるためのメカニズムとしての、**持続可能な地方連合**の考えを推進する。
- ◇ **国連人間居住計画**における将来の地方自治体の代表メカニズムのデザインを共有する。
- ◇ 新たに作られた**世界グリーン首都賞**への参加を検討する
- ◇ 南半球で急速に拡大する地域社会において、持続可能性の達成を可能にするために、スマートなインフラと、高密度な居住地へのソリューションを推進するための**対話、イノベーション、投資のためのプラットフォーム**を創設する。
- ◇ 繁栄した、持続可能な都市を創造するために、地方リーダーとその投資パートナーを結び付け、刺激し、能力を与える、**リーダーシッププラットフォーム（ULAS：アフリカの持続可能性のための都市リーダーシップ（Urban Leadership for African Sustainability）**のような）を推進する。

「持続可能性への道は都市と町を走り抜ける」

-
2012年リオ+20会議の
ICLEIのグローバルタウンホールでの国連事務総長潘基文

2. 低炭素都市

低炭素都市は、都市がエネルギー関連の排出の71%を占めることで、気候変動に対する有効でグローバルな対応の中に地方のイニシアティブが包含されなければならないことが明らかであるために、自らが行動する責任があることを認識する。

先を見越した計画作り、実施、モニタリングおよび排出削減量の自己報告が必要であり、低炭素および炭素ニュートラル目標と政策によって支援されなければならない。

低炭素都市は、活発なグリーン経済と安定したグリーンインフラを支援しながら、炭素ニュートラル、都市回復力、エネルギー安全に向けての段階的なアプローチを利用する。地方自治体は、有効な垂直的統合によってどのように気候行動を最適化するかについて、他レベルの政府と協力する。低炭素都市は他の都市とともに、その努力の拡大を目指し、グローバルな基準に従い、国またはグローバルなプラットフォームに報告し、気候変動を追跡するその貢献に対する支援を受けながら、低炭素、持続的開発に向けて継続的に実績を改善させる。

詳細については以下へ
www.ilei.org/lowcarbon

私たちのビジョン

ICLEIの全会員は、規模、成長率、北半球か南半球にあるかに関係なく、ICLEIが提供するガイダンスや支援を使って、低炭素都市になる。

このビジョンに到達するためのICLEIのアプローチ

低炭素都市アジェンダによって、ICLEI 会員が低炭素開発の道筋を決定し、これを全体的な開発戦略、プラン、プロセスの中に導入し、組み込むことを助けるために、会員を奨励し、先導し、技術的支援を提供する。そうする中でICLEI は、先進国と途上国の間で差別化された開発アプローチが必要なことを認識し、このアジェンダを定式化し、実施する際に地域的な調整を認める。

地球全体の地方自治体を支援し、ICLEIは、計測し、報告し、評価する（MRV）ための改善を行うグローバルなプロセスを開発、維持する。ICLEIのグローバル報告プラットフォームの中で、気候に関する約束、インベントリおよび気候行動を報告することで、そのような行動にも認識と可視性が得られる。

- **都市を地方の持続可能性の柱である低排出開発へ転換：**グリーンクライメットシティズ®プログラムを使って、低炭素・無炭素の実践に向かっての転換を会員に働きかけ、導き、支援する。これには、意思決定を支援し、評価と行動と加速を可能にする革新的な実行プログラム、サービスやツールの提供が含まれる。
- **地方の成功についてのグローバルな先導：**地方および地域の政府を支援するために、グローバルプロセスとガイダンスのさらなる開発とメンテナンスを続ける。これには、報告し、GHGインベントリの質の高さと数量を確保するための、関連の基準やプロトコルに対応するための、カーボン気候レジストリとその計測・報告・評価可能（MRV）なプロセスが含まれる。
- **エネルギーシステムの変化：**会員と技術専門家の間での契約をとりまとめることで、低排出、回復力のあるエネルギー生成、伝送と使用に向かって効率的に移行する方法を探る
- **共同のイニシアティブ（首長誓約のような）の正式な提携または推薦によって、他の都市ネットワークおよび関連するイニシアティブとの協力を増加させる。**
- **気候変動に関する世界市長・首長協議会（WMCCC）によって気候関連事項についての相互の交流と、世界中の地方リーダーの間の交流を増加させる。**
- **異なった政府レベルの間の垂直的な統合の向上によって、協同の計画作りから調整と報告までの気候行動を最適化する。**

- 会員による気候変動の緩和と回復力への貢献に対して、一連の政府間会議、団体、メカニズム、プログラムおよびイニシアティブからの、**評価、権限委譲（行動する資格）、支援**を求める。特に、各中央政府とその機関、企業と民間セクター、金融機関から。
- 会員を代表して、引き続き世界中の地方およびサブナショナル政府のために**グローバルな気候アドボカシー**をリードする。私たちが重点を置くのは、気候アジェンダと、持続可能な開発アジェンダ、その他の部門別アジェンダの間に明白な関係があることを強く主張することで、さらに、気候の回復力、資源効率、生物多様性、スマートな都市インフラ、持続可能な都市経済と調達についての戦略を補完する、都市の低排出開発についての提言を作成する。

1990年代の初めから、緩和と適応によって気候変動と取り組むグローバルな努力の中で、私たちは不可欠な役割を果たしてきた。私たちは、国際的な気候問題の交渉で、会員を代表し、すべての地方自治体の声として行動する。

低炭素都市に向けての新たなイニシアティブ 2015-2021

ICLEI は、

次によってグリーン気候都市（GreenClimateCities®）プログラムを強化する。

- ◇ **グローバル100%再生可能エネルギー都市ネットワーク**の設立、推進による（地方の）再生可能エネルギーの使用、グリーン経済の活性化、地方の回復力（強靱性）と低排出開発への意欲の向上
- ◇ 地方自治体が化石燃料より脱却し（地方の）再生可能燃料に投資するよう促す。
- ◇ 東アジアから始まった**エネルギー安全都市プログラム**のその他の地域への拡大、エネルギーシステムを低炭素、低リスクで回復力があるものに転換するためのシナリオと戦略についての都市との協力
- ◇ **回復力のある（強靱な）都市のアジェンダ**さらにはその他の都市アジェンダとの**相互連携**の強化
- ◇ 調和のとれた排出分析ツール(HEAT+)とクリアパス（Clearpath）の基礎の上に構築されるオープンソースである温室効果ガス（GHG）インベントリツールの開発の支援。このツールはグローバルプロトコル（GPC）に準拠したインベントリの編集とカーボン気候レジストリへの報告を支援する（SASによる受諾は留保中）
- ◇ グローバルプロトコル（GPC）に準拠した温室効果ガス（GHG）および気候変動緩和および適応の能力開発と結び付けられる、**都市気候プランナー認証制度**および**訓練プログラムの発足と発表の支援**（世界銀行と連携して）
- ◇ 都市での健康のため、大気質を改善し排出量を減少させる会員の努力に対して、支援と情報の構築。これは、**都市健康イニシアティブ（UHI）**における主要パートナーとして、気候と大気浄化の国際パートナーシップ（CCAC）の中で行われる
- ◇ 資源開発を支援し、会員による地方のプロジェクトを活性化するための、**気候と大気浄化の国際パートナーシップ都市固形廃棄物イニシアティブ（Municipal Solid Waste Initiative）**への従事
- ◇ 地方自治体と民間セクターが現代的な地区エネルギーシステムを展開して、エネルギー効率を最適化し、再生可能物の使用を最大にするのを支援するための、国連環境計画（UNEP）の**地域エネルギーシステムアクセレータ（District Energy System Accelerator）**、万人のための持続可能なエネルギー（SE4ALL）のパートナーシップへの加入
- ◇ **SE4ALL建物効率アクセレーター（SE4ALL Building Efficiency Accelerator）**とパートナーを組んで、グリーンで再生可能エネルギーを導入するビル建設に取り組み、現代的なデザインコンセプトと技術と素材を使おうとする都市に対する、有効な支援メカニズムの確立
- ◇ 世界大都市気候先導グループ（C40）、都市・自治体連合（UCLG）、都市と気候変動についての国連事務総長への特使、UN-ハビタット、国連事務総長の気候変動チームへの協力による**首長誓約の推進と拡大**



以下を行うことによる、**COP21**とその先に向けての地方の気候行動についての政府間アドボカシーの先導

◇ 地方およびサブナショナルの気候行動への注目を集め続けること、国連気候変動枠組条約に関する自治体及び地方行政機関（**LGMA**）と気候変動に関する国際連合枠組条約（**UNFCCC**）のフォーカルポイントとしての**ICLEI**の資格の活用、および**UNFCCC**に対する定例のカーボン気候レジストリの作成

◇ **2015年の第21回気候変動枠組条約締約国会議（COP21）**（フランス、パリ）に向けて用いられるアドボカシープロセスとしての、特に新たな転換行動プログラムに重点を置いた、地方自治体気候対応ロードマップのもとでのパートナーシップの調整と強化。これには、**気候交渉と持続可能な開発目標**についてのグローバルな議論との間のつながりをさらに強調し、相互依存についてアドボカシーを行うことが含まれる。

◇ 都市と地域が自分たちの気候変動提案を、組織だった、情報量の多い形式で潜在的な資金提供者に提示するのを助ける、「可視性のプラットフォーム」としてのオンラインの**TAPプラットフォーム**の開設

- ◇ **COP21**（パリ、2015年）で転換行動パビリオンを組織し、関連のアクターに、互いに関わり合い、最初の100の提案された行動を、パリのル・ブルジェの**COP21**で、金融機関に対して示す物理的スペースを提供
- ◇ 各パートナーの調印国が**カーボン気候レジストリ**で報告することによる、私たちのパートナーシップ、特にメキシコシティ協定、ダーバン適応憲章、アースアワー都市チャレンジ（**Earth Hour City Challenge**）、首長誓約、R20気候行動地域連合、エコモビリティアライアンス（**EcoMobility Alliance**）、アメリカの回復力のある地域社会とのパートナーシップの維持。
- ◇ 地方およびサブナショナル政府が自分たちの関与とインベントリを公式に発表するのを支援し、働きかけ、転換に向けた気候活動の進捗を報告することによる、**カーボン気候レジストリ**の強化

以下による気候変動に関する世界市長・首長協議会と新たなパートナーシップの強化

- ◇ 気候変動に関する世界市長・首長協議会（**WMCCC**）のメンバーのための**活発な交流と情報プラットフォーム**の展開と促進で、それによって、**ICLEI**の気候の仕事を**WMCCC**とさらに結び付ける。
- ◇ **WMCCC**のメンバーに定期的な更新、ピア交流の機会、**地域理事会**での**ICLEI**会員とのつながりを提供
- ◇ 新しいパートナーシップと選択的な関わりと、一方での既存のパートナーシップの育成による、会員への同様な高水準のメリット提供の継続
- ◇ **都市気候リーダーシップアライアンス（Cities Climate Finance Leadership Alliance）**の中での協力

3. 資源効率性・生産性の高い都市

私たちのビジョン

ICLEIの全会員は環境的、社会的、財務的資源をできる限り効率的に使用する。

会員は、国際的な資源チェーンへの依存と、地方における資源搾取の負担の減少などによって、真に生産的なシステムの確立を目指し、変革のプロセスをスタートさせる。

このビジョンに到達するためのICLEIのアプローチ

資源効率と都市の生産性は、単一または独立した行動では到達できず、すべてのセクションにわたって戦略的に支える必要がある。

ICLEIは会員に、組織的な手順とガバナンスの仕組みを作り、搾取的でない、効率的で、生産的で、公正な資源の使用を助ける、持続可能性管理ツールを導入するよう助言する。

- **管理システムとプログラム：**ICLEIは循環的な管理システム、リサイクル、再使用、アップサイクル、資源消費評価、エコバジェット（ecoBudget®）、持続可能な調達を推進する。低炭素、回復力、生物多様性、統合都市についてのプログラムはすべて資源効率的で生産的な都市に向けた手段である。
- **統合されたアプローチ：**ICLEIは効率的で生産的な資源管理を達成するための統合されたアプローチについての、ガイドライン、推奨戦略を作成、提供する。Urban NEXUSのアプローチは、従来の切断された縦割り型の作業に対する絶対的に必要な選択肢としての、部門横断的意思決定と統合されたシステムの行動の機会とメリットに重点を置く。
- **都市地域協力：**ICLEIは、持続可能で効率的な資源管理には、天然資源システムと人口移動がそれぞれの管轄境界内に留まらないことから、都市と地域の当局の間の良好な協力が求められることを認識して、地域的なアプローチと視点を促進する。
- **統合された都市の水管理：**ICLEIは会員が、水供給と雨水、廃水管理の間の多重なつながりを認識するシステムアプローチを導入することで、自らの都市水サイクルを理解し、管理するのを支援する。さらに、ICLEIは、公衆衛生、エネルギーサービス、気候変動適応といった、地方自治体の権限内にあるその他の部門との一連の関係を強調する。

資源効率性の高い都市ーエコシティと呼ばれることが多いー

は、その社会経済的発展が資源の搾取とエコロジカルな影響からはっきりと切り離されているようにする。こうした都市は、その区域内で求められる、水、大気、土壌、栄養物、鉱物、素材、動植物、エコシステムサービス、社会的および財務的資源を含む、あらゆる自然的、人的資源のインプットを最小化し、一方で、資源の劣化を避け、廃棄物の生成を減少させることでこれを達成する。

都市資源管理の最適化には、そうした資源が破壊され、過剰に使用され、汚染されるのを防ぐこと、資源を最も効率的で持続可能な方法で管理すること、その質の向上に貢献すること、補充と貯蔵が含まれる。

生産的な都市は、現在または将来の都市システムの効率の改善にとどまらず、ネットで生産的であるシステム（エコロジカル、経済的、社会的に）になることを目指した、新たな都市または新たな都市開発を含む。生産的な都市は、このように国際的な資源チェーンに組み込まれることによる依存と搾取の負担を減らすとともに、都市周辺や地方への依存も減少させる。

資源効率性の高い、生産的な都市は、統合され、持続可能な都市の水管理を確保する。



持続可能で回復力のある食料システム
都市－農村という状況の中でのさまざまな資源の間のつながりと相互依存を示すことで、ICLEIは、食料システムを開発戦略に統合し、民間および公的な意思決定者の間で認識を持たせ、教育するよう、会員を動機づけ、導く。

- **物質と廃棄物の管理**：削減－再使用－リサイクルは、ICLEI会員の多くが従っている考え方である。循環型の資源管理、産業共生、物質削減型のライフスタイル、所有よりも共有というモデルといったものが、新たな物質および廃棄物管理への先進のアプローチを象徴している。

資源効率性が高い、生産的な都市についての新たな、主要なイニシアティブ 2015-2021

ICLEI は、

生産的な都市

- ◇ 都市生産性共同研究のような**調査プロジェクト**への協力を強め、モデル都市を支援してその都市地域の資源生産性を高めるアプローチを探り、開発し、実証し、普及させる。それを通じて、持続可能性評価の概念的な枠組みとしての「都市の生産性」について考察する。
- ◇ **モデル都市・モデル地域社会**を始動し、支援し、都市の生産性を達成するにはどのようにしたら一番よいかを試す。

資源効率性の高い都市

- ◇ 国連環境計画（UNEP）が主導する**資源効率都市グローバルイニシアティブ（GI-REC ;Global Initiative for Resource Efficient Cities）**での協力の新たな段階に入り、能力構築、利用可能な知識キャンペーン、都市における資源効率性についての技術的専門知識へのアクセスについての都市の要求に対応する。ICLEI は都市レベルの資源効率性についてのツールキットの開発と、そのモデル都市での実証に貢献する。
- ◇ 地方自治体が自ら選んだ資源の消費を3年間で10%削減するよう働きかける、**10%効率向上プログラム**をスタート/促進する。ICLEI は関与（2018年の次回ICLEI世界大会まで）と実施を追跡し、これらを新たなグローバルプラットフォームで報告するパートナーに協力を要請する。
- ◇ 毎年行われる**都市NEXUSフォーラム**を創設し、NEXUS 思考の活動領域としての都市の重要性を定着させる。これは、グローバルな回復力ある都市会議（**Resilient Cities Congress**）シリーズとリンクされるか、独立したフォーラムとして創設される（そして、パートナー関係のある会員都市と連携して調整が行われる）。
- ◇ 会員の間に**共有の概念を普及させ**、会員は市民と企業が品物を共有したり、借りたりするのを推奨して、共有経済を促進するよう働きかける。

水

- ◇ 世界中の会員が、**地域に合わせたプログラム**、プロジェクト、ネットワークを通して、統合された都市の水管理に向けた努力を支援する。
- ◇ 新たな**地域的な水プログラム**を創設する。
- ◇ 3年に1度の世界水フォーラムを背景に、グローバルレベルでの主要パートナー（国連人間居住計画、都市・自治体連合（UCLG）、世界水フォーラムのような）とともに、地方や地域の政治的プロセスに関与し、サブナショナル当局だけのためのイベントに協力する。韓国のテグの**世界水フォーラム2015**（2015年4月）での地方および地域政府会議を先導する。

- ◇ **ポスト2015の持続可能な開発アジェンダ**にリンクされる、地方および地域レベルでの持続可能な水管理のための実施戦略を開発する。
- ◇ パートナーと連動して、**アフリカ地方自治体のための水・衛生ネットワーク（AWASLA ; African Water and Sanitation network for Local Authorities）**を、正式に認められた都市、地方自治体およびそのネットワークのための全アフリカのプラットフォームとして推進、強化して、垂直統合をアドボケートし、推進し、実行し、水と公衆衛生へのアクセス、質、都市地域社会のためのインフラとガバナンスに緊急に対応するための、地方の投資とパートナーシップを推進し、可能にする。

廃棄物および資源管理

- ◇ **資源管理**：会員のニーズに対応することで、積極的な資源管理、廃棄物削減、アーバン・マイニング等に向けて、会員をさらに支援する。
- ◇ **企業との協力**：廃棄物をエネルギーに、共生プロジェクトや類似のものを含む、新たなアプローチについての会員の交流を組織する。

持続可能で回復力のある（強靱な）食料システム「都市農業」

都市地域内での食物生産の増加に熱心な都市のネットワークを立ち上げ、推進し、地域の状況の中での持続可能な食料システムを強化する。

- ◇ シティフード（CITYFOOD）プログラムを立案、実施して、回復力のある（強靱な）都市ー地域食料システムに向けて、都市農業・食料安全保障資料センター（RUAF ; Resource Centers on Urban Agriculture & Food Security）とのパートナーシップの中で会員を支援する。
- ◇ 毎年の**都市農業サミット**を組織し、情報共有と政策開発のための追加のイベントにも関与する。回復力のある（強靱な）都市ー地域食料システムが、ICLEIによって着手される関連する将来のプロジェクトの主要構成要素として推進される。
- ◇ パートナーシップでの、技術および政策文書と都市ー地域食料システムについての地方の活動事例のコレクションと、世界中からの都市ー地域の食料システムについての地方での行動事例を特徴とする、世界的な意義のある新しいウェブサイトによって、この問題に関する**オンラインでのプレゼンス**を増加する。
- ◇ **都市地域食システムについてのグローバルパートナーシップ（Global Partnership on City Region Food Systems.）**に関与する。
- ◇ 国連食料農業機関（FAO）との正式な協力（覚書）を確立する。



4. 回復力のある（強靱な）都市

回復力のある都市は、その基本的な機能、構造、アイデンティティを維持しながら、いかなる衝撃またはストレスも吸収し、それから回復する備えがある。変化が続いても物ともせず、適応し繁栄する。都市が直面する変化の例には、自然および産業災害、環境緊急事態、経済ショック、気候変動の影響、劇的な人口の変化およびその他の予測されない難関が含まれる。

回復力の構築には、危険から生じるリスクの特定と評価、脆弱性と障害の削減、回復力の増加、適応能力、緊急時への備えの増加が求められる。

詳細については以下へ。

www.iclei.org/resilience

私たちのビジョン:

ICLEI の全会員はその基本的な機能、構造、アイデンティティを維持しながら、いかなる衝撃またはストレスも受け入れ、回復できるよう備える。会員は、政策、計画、投資を調整して、最適な回復力とすべての人々にとっての生活の質を確保する。

このビジョンに到達するためのICLEIのアプローチ

回復力のある（強靱な）都市アジェンダによってICLEI は、リスクを評価し、回復力のための手段を決定し、そうした戦略を地方開発のプランとプロセスの中に組み込むよう会員を動かし、指導、支援する。

- **認識と動員**：ICLEIの回復力のある（強靱な）都市に向けての主要な戦略は、優良実践を普及させ、行動に動員することである。
- **ローカルとグローバル**：ローカルアクションへの直接の支援を、グローバルに可能にする条件についてのアドボカシーと結び付けることが、ICLEIの核となるアプローチである。回復力の構築には地域に適用できるようにされた計画と政策が必要である。
- **地域に重点**：ICLEI 地域事務所は、会員のため支援のプログラムとキャンペーンを行い、地方の状況に適応した活動を加速させるために手法、ツール、ガイドライン、能力構築リソース、知識共有のイニシアティブを提供する。
- **会員のリソース**：選ばれたモデル都市との集中的な作業の結果が、広く利用可能なものと、会員専用の両方のオンラインリソースで、さらには料金ベースのサービス提供を通して、会員に普及される。
- **変化の促進**：ICLEI は都市の回復力についてのグローバルな思想的リーダーかつ国際的な概念、アプローチ、戦略の推進者として行動し、それぞれの調査項目の情報を提供する。
- **グローバルなプラットフォームの提供**：都市の回復力と適応についての毎年**の回復力のある（強靱な）都市のグローバルフォーラム（resilient cities global forum）**は、イノベーション、戦略構築、報告、議論、交流のためのグローバルなプラットフォームであり続け、地域および国のフォーラムによって補完される。
- **資金調達**：ICLEI は、公的および民間のアクターを含むグローバルな地域社会に、回復力の構築に向けた十分な資金および人的資源に責任をもつよう要求し、都市がそうしたリソースに直接アクセスできるようアドボカシーを行う。ICLEIのグローバルなアドボカシーとパートナーシップが、地方および国レベルでの回復力のある（強靱な）都市プログラムの実施と資金調達を支援する。

回復力のある（強靱な）都市に向けた新たなイニシアティブ 2015-2021

ICLEI は、

- ◇ 少なくとも全会員の25%が、自らのリスク、回復力政策、適応の意欲、計画、行動を決定、報告し、さらには回復力を加速させるために地方の政策と財政配分を調整するよう、**ICLEI会員**を動かす。
- ◇ グローバルな**回復力のある（強靱な）都市プログラム**を拡大して、調査、報告およびコンサルティングサービスを提供する。
- ◇ 国および地域の回復力計画作りツールをさらに開発し、オンラインのプラットフォームを通じて会員の多数がアクセスできるようにする。
- ◇ ICLEIのグローバルなアクターを招集できる立場を活用し、地方の回復力構築プロセスについての私たちの多くの経験を十分に活用して、**最新の知見**、イノベーション、都市の成功を取りまとめ、普及させる。
- ◇ ダーバン適応憲章（DAC）事務局、地域のハブ、グローバルなアドボカシーを通じて、ダーバン適応憲章（DAC）の実施を支援し、さらに多くの地方自治体が署名者として加わるよう働きかける。
- ◇ **Regional Resilient Cities Congresses**およびフォーラムを新設し、既存の適応策会議も強化する。
- ◇ 中国のパートナーと共に、中国で**回復力のある（強靱な）都市中国フォーラム**を発足させる。
- ◇ 都市と小島嶼国家の協力の枠組みを含めて、危険にさらされている**小島嶼国家**だけのための回復力プログラムを作成し、そのための資金を調達し、提供する。
- ◇ 気候変動の影響のもとでの**後退または移転**についての**長期戦略**に関わる選択肢を探る、低地デルタおよび沿岸都市の将来についてのグローバルな話し合いを先導し、推進する。同時に、かかる戦略の法的、制度的、経済的な意味合いを明らかにする。
- ◇ **先導的な都市のグローバルなグループ**を確立し支援する。
- ◇ 会員が**都市のリスク**を特定し、評価し、削減するのを支援するグローバルなイニシアティブを作り上げる。
- ◇ ICLEI会員の間に**自然および産業災害リスク**ならびに、リスク（ぜい弱性を含む）評価、リスク軽減機会、回復力計画作りの必要についての認識を高める。その後、都市の回復力/リスク責任者のポストの導入を支援し、会員の国連国際防災戦略事務局（UNISDR）とICLEIがパートナーを組む、都市に回復力を持たせるキャンペーン（**Making Cities Resilient Campaign**）への加入を働きかける、
- ◇ 地方の回復力計画作りと管理のツールとしての、グローバルに適用可能な**都市回復力指標**の開発を支援する。
- ◇ 都市リスクプロフィール、活動報告、影響分析を組み込んだ、都市リスクと回復力についての**標準化されたデータ管理のためのプラットフォーム**を（共同で）立案する。
- ◇ データ仕様誤用、データ喪失についてのリスクの可能性を分析するとともに、都市のデータ従属度の望ましいレベルを確立するために、都市の**データ回復力**についての議論に着手する。
- ◇ **ポスト2015災害リスク削減フレームワーク**（仙台フレームワーク）の実施を支援する。
- ◇ **首長誓約（Compact of Mayors）**のもとで、**カーボン気候レジストリ（cCCR）**に報告する**200以上の自治体**を通して、都市の回復力のグローバルな進捗を追跡する。地方、国、グローバルなレベルの政治および金融機関に対するそうした努力の注目度を増すためのアドボカシーを行う。
- ◇ **都市気候資金調達リーダーシップアライアンス（Cities Climate Finance Leadership Alliance）**の中で協力する。

5. 生物多様性都市

生物多様性都市は、自身が生存と生活の質の双方について依存しているために、多様な自然が人間存在の基礎であることを理解する。エコシステムサービスが多くの不可欠の都市サービスに対して、さらに地方経済、都市の持続可能性と社会的福利に対して貢献していることも認識している。

都市における生物多様性はグローバルな生物多様性目標の達成に対して重要な貢献を行う。それは生物多様性の一層の喪失を緩和し、都市の生活水準を向上させ、地方におけるグローバルな教育と認識についての機会を提供する。

都市の生物多様性は、多くの追加的なメリットを提供し、健康、貧困の軽減、居住環境の保全、空気と水の質、気候変動への適応と緩和、食物の提供、インフラの回復力の補強、市民の幸福とつながってきた。

詳細については以下へ。

www.cbc.iclei.org
www.urbis.org

私たちのビジョン

ICLEIの全会員は（都市の）生物多様性とエコシステムを認識し、尊重し、すべての土地利用、開発計画作り、関連の政策決定に組み込む。

このビジョンに到達するためのICLEIのアプローチ

生物多様性都市アジェンダを通して、ICLEIは、会員が地方の戦略、計画、プロセスの中で、生物多様性の問題に関わり、統合し、実行するのを促し、導き、技術的支援を提供する。

ICLEIは、生物多様性への取り組みには、それぞれについて僅かに異なるアプローチと重点事項が求められるために、異なった地域と市政機関についての状況に敏感なソリューションが必要なことを認識している。このために、生物多様性都市アジェンダは、共有される原則と優良実践によって支えられはするが、ICLEIは会員が経験を共有し、優良実践を紹介するためのネットワークフォーラムを提供する。

ICLEIは、すべての地方自治体が国際的な生物多様性の交渉の中で自分たちの声を聞いてもらえるためのプラットフォームを提供して、グローバルな生物多様性の考え方に影響を与えるために不可欠な役割も果たす。

ICLEIは生物多様性のためのローカルアクションについての以下の重要事項を推進するが、それらはその都市生物多様性センターによって、グローバルに方向付けられ、調整される。

- 生物多様性とエコシステムのメリットについての認識を向上させ、配布されるすべての情報が、科学的で行動にもとづいた証拠によって確実に実証されるようにすることによる**動員**
- 学術機関、国際組織、都市の生物多様性とエコシステムサービスの向上に重点的に取り組むその他のプログラムとの協力とパートナーシップによって育成される、**革新的で統合されたアプローチ**と方法論
- 地方の生物多様性とエコシステムサービス管理、計画作りと統合についての、専門家のガイダンス、サービス、ツール、リソースの提供による会員のための**技術支援**
- **関連付けの作業**：生物多様性の保全を持続可能性と回復力、エコシステムサービス、人間の福利、貧困軽減、雇用創造と統合することで、都市が豊かで、多数のプラスの持続可能なメリットを得られる事の理解
- 垂直的にも水平的にも、すべてのレベルのガバナンスでの**意思決定への生物多様性の統合と主流化**。健全なエコシステムが都市のさまざまな目的、特に土地利用管理、開発計画作り、都市インフラに関連して重要な貢献をすることの理解
- 共通の課題に取り組み、アイデアを共有し、**研究者と実務家を**

結び付け、パートナー組織とネットワークの協力を促進するための、会員間の学習と交流の構築

- 共同の計画作り（すなわち空間開発枠組み）から調整と報告までの生物多様性活動を最適化するように、さまざまなレベルの政府の間で垂直的な協力を向上
- 地方自治体と都市の生物多様性についてのグローバルなアドボカシーの先導と、生物多様性についての会議とその他の国連の会議と生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム（IPBES）、持続可能な開発目標（SDG）などのような国際的プラットフォームを含むがこれに限らない、ICLEI会員を支援するグローバルなプロセスについて知らせることの継続



生物多様性都市に向けた新たなイニシアティブ 2015-2021

ICLEI は、

- ◇ 2009年にICLEIアフリカ地域事務所内に、優良な知見のグローバルなハブとして、またステークホルダー、パートナー、都市とともに、都市の生物多様性とエコシステムの仕事に関わるその他の人たちのエントリーポイントとして設立された、**都市生物多様性センター（CBC）**を強化し、発展させる。
- ◇ 5,000万人以上の住民が、自治体が行った決定によって、直接生物多様性に関連したメリットを受けることを目標に、生物多様性アクションプランの策定に当たって**会員**を支援する。
- ◇ 生物多様性のためのローカルアクション（LAB）プログラムを追加して策定、着手し、**LAB南アフリカ**（変化する気候のもとでの湿地帯管理（**Wetland Management under a Changing Climate**））と**LAB韓国**を展開する
地方自治体に柔軟で個別の支援を提供する、LABプログラムの経験にもとづく、一連のサービスに着手する。
- ◇ （主要なパートナーと共に）カーボン気候報告プラットフォームと提携する都市の生物多様性のための**グローバルアクションと実績報告プラットフォーム**に着手する
- ◇ 2015年、2018年、2021年のイクレイ世界大会において、**都市自然シンポジウム**を開催する。
- ◇ **都市生物多様性サミット2016**を、メキシコのロス・カボスでのCBD COP 13と同時に、共同で（CBD、ICLEIの都市生物多様性センター、ICLEIメキシコの事務局の間で）組織する。
- ◇ 最先端のグローバルなイニシアティブである「**生物多様性のホットスポットにある都市**」を共同で公表する。ここでは、世界中の最も脅威にさらされている地域で生物多様性とエコシステムの財とサービスを、経済開発と土地利用の枠組みに組み込むことが中心となる。
- ◇ 都市バイオスフィアイニシアティブ（**URBIS ; Urban Biosphere Initiative**）の事務局としてのICLEIの能力をさらに発展させる。URBISのオンラインセミナーのシリーズの継続によってURBISの対話を充実させ、都市の生物多様性管理における優良都市についての正式な都市の承認プロセスを作り上げ、実施する。
- ◇ 愛知生物多様性目標の地方での実施に重点を置いた、都市バイオスフィアイニシアティブ（URBIS）のプロジェクトであるアフリカの都市自然資産プロジェクト（**Urban Natural Assets for Africa**）（UNAアフリカ）に、選ばれたサブサハラのアフリカ都市のパートナーとともに着手する。
- ◇ 急速な居住地の喪失、沿岸人口の増加、気候変動の結果として脆弱化した、沿岸エコシステムの管理の向上と持続可能な利用に特化した、**統合沿岸管理（ICM）**イニシアティブに着手する。
- ◇ CBD事務局内の積極的なメンバーとして都市とサブナショナルの**グローバルパートナーシップ（Global Partnership for Cities and Subnational）**に参加し、引き続き、生物多様性都市についてのICLEI GEXCOM議長が議長を務める、ポートフォリオ**生物多様性諮問委員会（BAC）**の事務局としての役割を果たす。

6. スマートシティ

「スマートさ」は持続可能な開発と回復力に貢献する手段である。健全な意思決定と長期と短期の両方の視点からの熟慮によって、

「スマートさ」は、優れたガバナンスと適切な制度的インフラ、プロセスと行動、適度に革新的な手法、技術、天然資源の使用によって特徴づけられる、全体論的で体系的なアプローチであることを意味する。世代間の正義、環境的な正義、社会的包括といった持続可能性の核となる原則が、「スマートさ」の基礎となる。

スマートシティはその運営の中に「スマートさ」を組み込み、より持続可能で回復力を持つようになるという包括的な目標に導かれる。スマートシティはその都市システムを、物理的なもの（例えばエネルギー、水、輸送、汚染排出物）であろうと社会的なもの（例えば社会的、経済的包括、ガバナンス、市民の参加）、透明で包摂的な情報のフィードバックメカニズムによって分析し、モニターし、最適化する。スマートシティは継続的な学習と適応を熱心に行い、体系的な思考の導入によって、その包括性、結束力、ガバナンス、その社会、経済、物理システムの実績を向上させることを志向している。

詳細については以下へ。

www.iclei.org/smartcities

私たちのビジョン

ICLEIの全会員は、人々を中心に体系的な思考を導入することで、持続可能な都市開発の推進を目標に、物理的、ガバナンス、社会的システムを最適化する。

これらのビジョンに到達するためのICLEIのアプローチ

スマートシティへのICLEIのアプローチの要には以下のようなものが含まれる。：

- **人々が中心に：**スマートシティの論議は、機会と技術的進歩から生じる都市開発ソリューション、特に情報通信技術（ICT）と自動化技術の使用の増加に関連するものによって知り得るが、スマートシティの中核にはやはり人々がいてはならない。このことは、関連の技術、インフラ、都市システムがインクルーシブで、参加的で、サービス志向のガバナンスと意思決定に基づいていなければならないことを意味する。都市システムは**人々のシステム**である。進歩的、技術的なソリューションの導入についてなされる意思決定は、都市の人々の利益と、その全体的な持続可能性によって決まる。
- **持続可能性を高めるスマートシティ：**ICLEIは、スマートシティの概念が持続可能な都市という考えにどのように最も貢献できるかを探り、「スマートシティ」が規範的な概念としての持続可能な都市に置き換わってはならないことを論じる。
- **ローカルアクションとの情報交換：**ICLEIはその地方の持続可能性目標を満すためのスマートシティソリューションの導入に当たって地方自治体を支援する。この地方主導のアプローチは、それぞれの都市が状況的に独特な経験を持つ、都市を越えた異なったスマートシティ戦略につながる。都市と、スマートシティのソリューションとアプローチについての異なったステークホルダーの間の情報と知識の交換にもとづく都市横断的な学習が、そのために、スマートシティソリューションのグローバルな普及に不可欠である。
- **標準化：**スマートシティと持続可能な都市の標準化への地方自治体の関与が、地方の自治を強化しながら持続可能性原則を主流化し、都市とその住民に役立つ「スマートさ」を普及するために必要である。
- **戦略的企業パートナーシップ：**民間セクターからの技術の進歩と革新的なソリューションはスマートシティ開発の主要な推進役である。さらに、都市の物理的フローとインフラは次第に民間セクターのアクターによって管理されるようになる。民間セクターのステークホルダーとの**戦略的長期パートナーシップ**に入ることが、そのために、ICLEIがスマートシティの議論を形成するために不可欠である。

- **都市－企業協力**：ICLEI は、都市－企業の対話とパートナーシップを推進するために、地方自治体と企業を結び付ける努力をする。公的および民間セクターのアクターのビジョン、関心、言語、制度構造が異なっているために、両サイドからのアクターの間の中介された対話や革新的な協力の推進モデルが必要である。ICLEI は、都市の課題に対するインクルーシブで持続可能なソリューションを普及させるために、透明な**都市－企業協力**を促進する。
- **重大な問題としてのシステム統合と都市NEXUS**：都市システムの統合（例えば、情報フィードバックメカニズムの創設、都市フローの相互接続、統合された計画とガバナンスまたはその他の都市の物理的または制度的構造）は、相乗効果を作り出し、都市とその機能の効率性を向上させるための主要な方法である。



スマートシティと緑の都市インフラに向けた新たなイニシアティブ2015-2021

ICLEI は、

- ◇ 調査、ケーススタディ、刊行物によって、スマートシティのイニシアティブとソリューションについての**専門知識の蓄積を強化する**。主要な主題分野にはシステム分析、システムマッピング、データのマイニングと管理、スマートセンシングとメータリング、スマート照明とインフラ統合、都市のためのICT導入、データセキュリティ、プライバシー保護、透明性、データへの公平でインクルーシブなアクセス、その他の関連分野が含まれる（ただしそれらに限られない）。
- ◇ 特にエネルギー、資源効率性、都市の交通と市民参加の側面について、“スマートなアプローチ”を模索する。
- ◇ **会員に対して**、この知識を利用できるようにし、コンサルタント業務と情報サービスを提供し、その専門知識を利用して国際的なスマートシティの議論に影響を与え、持続可能で人間中心のスマートシティのソリューションを推進する。
- ◇ 低炭素開発ソリューションゲートウェイをさらに拡充してスマートシティソリューションを含める。公的および企業セクターからのパートナーが、新たに形成されたパートナーシップの一環としてインプットを提供することが勧められる。
- ◇ スマートシティについてパイロットプロジェクトやフラッグシッププロジェクトに着手し、これを支援し、その実施、評価、それらを通して得られる知識の交換を支援する。
- ◇ 地方のニーズを企業に示し、都市－企業対話プラットフォームを提供する目的で、都市インフラについての技術的、資金的、組織的、制度的ソリューションを提示するフェアやイベントに従事する。例として**メトロポリタンソリューション2015**および**2016**（ベルリン）、**ワールド・エフィシエンシー2015**（パリ）などが挙げられる。
- ◇ ICLEIの価値観に賛同する**企業**や企業団体と戦略的に協力し、民間セクターのパートナーへの会員のアクセスを改善し、都市－企業協力を推進するために**具体的なパートナーシップ合意**を形成する。これらのパートナーシップ合意は、イベント、ソリューションゲートウェイ、実施プロジェクト、調査と刊行物の発行といった協力モジュールからなり、覚書の非拘束的な関係を超えたものになる。
- ◇ **持続可能な開発のための世界経済人会議（WBCSD）**とパートナーシップを組んで、民間セクター、学会、市民社会からのアクターが加わる、透明でインクルーシブな複数のステークホルダープロセスを効果的に立案し、実施する方法について会員にアドバイスを提供することに関心を向ける、新たに制度化される都市－企業協力モデルを文書化し分析する。
- ◇ スマートで持続可能な都市についての**標準化プロセス**における関与を拡大し、その中で、ICLEIが地方自治体の声として、また都市の持続可能性のために行動する。ICLEIは会員に積極的に知らせ、これらのプロセスへの参加を強く支援する。
- ◇ **グリーンビルディング**、地方の再生可能エネルギー、その他の物理的システムへのこれまでのイニシアティブを拡充し、基準、政策、規制、計画実践の、体系的で全市的な導入を推進する。
- ◇ **スマートシティリーダーシップエクセレンス**についての表彰と授賞のプログラムを検討する。

7. エコモバイル都市（持続可能な都市モビリティ）

エコモバイル都市は、持続可能な都市モビリティ原則を利用して、温室効果ガス（GHG）の排出とエネルギー消費の大幅な削減、大気質の改善、すべての市民にとってのモビリティ機会の向上を達成することで、より住みやすく、アクセス可能な都市を創造するという、その目的を達成する。

持続可能な都市モビリティの主要な構成要素がエコモビリティで、それは統合された、社会的にインクルーシブで、環境に優しい輸送の選択肢を優先させるものである。エコモビリティは、歩行、サイクリング、台車での輸送、公共輸送機関の利用、そして可能な場合はいつも、統合された代替モビリティとして共有のモビリティを、個人的な自動車の所有の統合された代替手段として組み込む。

私たちのビジョン

ICLEI の全会員は、徒歩、自転車、台車運搬、公共交通といった手段がより統合的に共有された形で優先されることで、人々のニーズを満たし、都市空間のより公平な使用を可能にする、都市モビリティを優先させる。

このビジョンに到達するためのICLEIのアプローチ

ICLEI は会員が以下を含む体系的なアプローチを持続可能なモビリティに組み込むことを援助する

- **統合された計画作り：**持続可能な都市モビリティとエコモビリティを土地利用と輸送計画作りに組み込むことが、低炭素で、資源効率の良い、回復力のある、スマートな都市のための重要な戦略である。
- **統合された輸送システム：**分離されたものとは対照的に、統合された人と物を移動させるシステムを特徴とする。指導目標は、モーター化されない輸送インフラの実行と公共輸送の統合の向上助成への道を開くことである。
- **新たな機会：**多様で統合された輸送システムは都市開発と人間中心の公共空間への相乗効果アプローチをもたらす。
- **判断と評価：**都市モビリティについての個別対応の実績計測、モニタリング、評価ツールの開発と実施によって、ICLEI が会員の間の都市モビリティの開発をチャート化することが可能になる。
- **アクセスしやすさとパートナーシップ：**グローバル、地域、および地方のモビリティの専門家との貴重なパートナーシップによって情報と経験を増加させることで、ICLEI の会員都市がエコモビリティの概念化、開発と実施に向けられた知識にアクセスする能力が拡大される。
- **地域的なアウトリーチ：**今日まで、エコモビリティは、先進都市とグローバルなリードパートナーの協力的ネットワークを代表する、グローバルなICLEI のイニシアティブとなってきた。次の段階は、地方レベルでのグローバルな経験の普及を強調しながら、地域レベルでのアウトリーチを強化することになる。こうしたイニシアティブを支援するために、持続可能な都市モビリティについての既存のいくつかのプログラムが結び付けられる。

エコモビル都市に向かった新たなイニシアティブ 2015-2021

ICLEI は、

5,000万人以上の住民がエコモビリティに関連した行動から直接利益を受けるよう、都市モビリティのオプションの開発にあたって会員を支援する。

- ◇ 都市モビリティの実績計測およびモニタリングについての**SHIFT方法論**を、北米、南アジア、東アジアからスタートし、さらに以遠の地域に導入する。
- ◇ **エコモビリティアライアンス**を2018年までに少なくとも**30**の参加会員にまで拡大し、グローバルな推進のために共同で資金提供する用意のある新たな議長都市とパートナーを組む。
- ・
- ◇ 南アフリカのヨハネスブルグでの**エコモビリティフェスティバル2015**および**会議および対話**の実施を支援する。
- ◇ 2016年から2021年の間のエコモビリティフェスティバルの受け入れに関心を持つ会員を募る。
- ・
- ◇ 都市が**地域の実情に合わせたカーフリー月間**を実施するよう働きかける。
- ◇ 地方、サブナショナル、国レベルでの持続可能な都市輸送の推進のために、**研修及び能力構築サービスを提供する**。
- ◇ 都市の健康とモビリティに取り組むプログラムに着手する。
- ◇ 都市のエコ輸送（**エコロジスティクス**）についてのプログラムに着手する。
- ◇ 都市モビリティインフラの開発と政策を支援する、大量輸送、代替燃料、革新的技術、革新的資金調達メカニズムおよびその他のテーマについて、関連組織との**戦略的パートナーシップ**に着手する。
- ◇ 持続可能な都市輸送についての技術および政策文書をコンテンツとするウェブサイトを拡充し、この主題についての**オンラインでのプレゼンス**を増加させる。エコモビリティのメッセージと成功事例をより広い相手に普及させるために、ソーシャルメディアが用いられる。



8. 幸福、健全、包摂的な地域社会

幸福で、健康で、包摂的な地域社会は、健全と幸福をすべてに優先させることを選び、開発の主要な指標として国内総生産（GDP）の先に目を向ける。それは活力に満ち、清潔で、健全で、包摂的で、平和で安全であること、そして多くの場合、教育、文化、グリーン雇用、高い生活の質、良好なガバナンスである。

こうした地域社会によって、相互交流の機会、意思決定における地域社会の関与、次第に高齢化する社会のニーズとより若い人口のための開発の両方のためのプランの機会がもたらされる。世界の多くの地域が高齢者の増加を経験しつつあり、一方で、他の地域では、人口がますます若くなっている。

幸福で、健康で、包摂的な地域社会は、その権限を個人と全社会の両方に広げていく。

詳細については以下へ：
www.iclei.org/ecomobility

私たちのビジョン

ICLEI の会員は、市民社会に関与し、公共空間、モビリティの活発化、健康が満たされる環境条件などに支出しつつ、活力に満ち、清潔で、健全で、包摂的で、平和で安全であるという視点で、自らの実績を評価する。

このビジョンに到達するためのICLEIのアプローチ

ICLEI は以下によって会員を支援する

- **認識と動機づけ**：住民の健全と幸福はすべての都市の綱領であり続けなければならない。ICLEI は会員に、福利、幸福、地域社会の関与、社会的インクルージョンを、持続可能性のための有意義な政策目標として組み込むことを助言する。
- **ローカルアクション**：幸福で健全な都市に向けた政策の開発、実施、評価がモデルプロジェクトによって支援される。
- **都市を結び付ける**：ICLEIは、イニシアティブを住民にとっての健全と幸福によって計測し、または水、大気、公共空間の質の改善に当たって称賛すべき活動を実行する都市に、ネットワーク作りの機会を提供する。
- **「GDPを超えた開発」の議論**：ICLEIは引き続いて成功と進捗の計測のためのGDPの代替となるものについての議論の、思想的リーダーかつ推進者としての役割を果たす。

幸福な地域社会に向けた新たなイニシアティブ 2015-2021

ICLEI は、：

- ◇ 地域社会の健全と幸福を測る**評価プログラム**開発の機会を探り、このテーマでの協力に関心を示す都市を結び付ける。
- ◇ アフリカ、ラテンアメリカ、アジアにおける安全で健全な地域社会に焦点を当てた、適切な**地域プログラム**の機会を利用する。
- ◇ **都市のモビリティと健康**、ならびに公衆衛生と都市環境の間の関係についてのプログラムを開発する。
- ◇ 現在**ピルグリム都市ネットワーク (Pilgrim Cities Network)**を通じて探求されているように、文化と地域社会の福利の間のつながりをさらに強調する。
- ◇ 会員都市における、活気があり、包摂的な**公共空間**についてのプログラムに、環境、健康、市民の福利に重点を置いて着手する。
- ◇ ハビタット III などのグローバルな議論の中で、このアジェンダの意義を普及させ、明らかにする
- ◇ 健全、幸福、社会的包摂の原則の達成について都市を**ランク付け**するグローバルなプログラムを開発する。
- ◇ ブータンのICLEI会員の経験に基づいて、**都市幸福指標**を共同開発する。



9. 持続可能な地方経済と調達

持続可能な地方経済

持続可能な地方経済は人間の福利と社会的公正を向上させ、同時に環境リスクと天然資源の不足を大幅に軽減する。

持続可能な地方経済は資源効率が高く、低炭素で、社会的な責任を負い、多様である。そこではグリーン成長産業における雇用創造、よりクリーンな技術への投資、イノベーション、スキルと企業家精神を創造する経済が優先され、持続可能な都市の創造にはそれらのすべてが必要である。

持続可能な地方経済は、根本的に生産と消費の新たなモデル、経済成長の変化と資源消費と環境悪化からの分離、財とサービスの環境および社会コストへの織り込みを追求する。これは権限付与の政策、法的小および財政的枠組みの開発に努力する、前向きの考え方を持つ地方および地域の政府によってのみ実現可能である。

私たちのビジョン

ICLEI の全会員は、法的、計画上、および財政的手段を動員して、持続可能な経済への転換を加速させる。ICLEI の全会員は、持続可能な調達を標準とし、その調達力を用いて持続可能な生産と消費の方向性で、市場に影響を与える。

これらのビジョンに到達するためのICLEIのアプローチ

持続可能な経済

ICLEIの狙いは、都市の持続可能性を可能にする主要な要素である、持続可能でグリーンな地方経済の推進と支援である。そうした経済の原則には以下が含まれる。

- 成長の資源消費からの分離
- 民間および公的セクター内での循環経済
- 革新的な、クリーン技術、エコデザイン、社会的企業家精神
- SMEの参加障壁の解体
- 持続可能な経済概念とモデルへの投資の促進
- 化石ベースの産業についての投資撤退戦略
- すべての計算へのライフサイクルコストの算入
- 経済と社会の力強い変化を反映するための公行政の現代化

持続可能な調達

ICLEIの狙いは、質の高い、費用効率の良い、持続可能で革新的な調達の実践を望む公的機関に、専門的アドバイス、ネットワーク作りの機会、研修とツールを提供することである。ICLEIの具体的目標には以下が含まれる。

- 環境的、社会的、経済的目標を満たすための手段として、公共機関への持続可能で革新的な調達の普及
- 人々が持続可能で革新的な調達についての情報を発見できる、自らの達成推進に役立つ中央知識ハブの提供
- 持続可能で革新的な調達の実施に当たっての公共機関の支援と、その達成推進の援助
- 公共機関が持続可能で革新的な調達を実施するに当たって役に立つ、方法論とツールの開発の調査への着手
- 持続可能で革新的な調達について人々が他者と経験を共有し、ネットワークを作る機会の提供

- 公共機関の調達担当者と供給者の間の対話の促進
- 政策決定主体と公共機関との間のつながりの形成と、持続可能で革新的な調達についての国への、ヨーロッパへの、国際的なイニシアティブの展開へのインプットの提供

持続可能な都市経済の開発に向けた新たなイニシアティブ 2015-2021

持続可能な経済

ICLEI は、：

- ◇ 持続可能な経済原則をプロジェクトの企画と手法に組み込む。
- ◇ 持続可能な経済と、それをどう推進できるかについて、会員の協力を支援する。
- ◇ 「共有都市」の概念を支援する。
- ◇ 会員間で、地方の経済循環強化の手段としての「地域通貨」についての経験を共有する。
- ◇ 持続可能な開発のための世界経済人会議との協力を強化し、地方自治体と（地方の）企業の間の協力プロセスのモデルについて、文書化し、分析し、さらに開発する。

持続可能な調達

ICLEI は、

- ◇ 持続可能な生産と消費への転換を推進するために、持続可能で革新的な調達を実施する能力を備え、共有し、開発する**主導都市**の、世界に広がる**ネットワーク**を創設し、推進する。韓国のソウル市がこのネットワークの議長となり、これを推進する。
- ◇ 中国でエコ調達の会議をシリーズで開催する。
- ◇ その専門知識を用いて、南米、アフリカ、東アジアで**調達のネットワーク、プログラム、イニシアティブ**を創設する。
- ◇ **プロキュラ+キャンペーン**をさらに発展させ、より広いヨーロッパの**持続可能な調達とイノベーションネットワーク**に変革させる。
- ◇ ヨーロッパで**サブナショナルの調達ネットワーク**を試行する。
- ◇ **プロキュラ+セミナー**によって、選ばれた公共機関と最新のトピックを話し合う、質の高いネットワーク作りのイベントをヨーロッパで提供する。
- ◇ 2017年にヨーロッパで、**第10回エコプロキュラ会議**を組織することとし、その受け入れ都市を探す。
- ◇ 持続可能公共調達実施のガイドとして**ICLEIプロキュラ+マニュアル**の第3版を改訂し、さらに新たな地域向けに調整し、引き渡す。
- ◇ 廃棄物の管理、抑制、処理と革新的なバイオベースの製品とサービスの分野における低炭素ソリューションについての公共調達委員会を作る。
- ◇ 廃棄物の管理、防止、処理の分野における革新的な低炭素ソリューションの発見についての**PPI4廃棄物プロジェクト**への貢献によって、**革新的な公共調達**の実施に向かって動く。
- ◇ 公共のグリーン調達についての問い合わせに対応し、ケーススタディを提供し、公共調達におけるヨーロッパの最新の展開についての情報を共有して、欧州委員会のために、引き続き、**欧州公共調達（EUGPP）ヘルプデスク**を管理する。
- ◇ 欧州委員会の刊行物である、「**バイインググリーン！環境についての公共調達のハンドブック（buying Green! A Handbook for Environmental Public）**（第3版）」を更新する。

イノベーションと持続可能な調達

公共調達は、持続可能性、イノベーションを加速させて、持続可能な経済に向かっている転換を行う非常に大きな機会を提供するが、この機会が見逃されることも多い。革新的で持続可能な調達に着手することで、地方と地域の政府は、税収入が責任を持って使われ、公共の購買力を用いて地方で、およびグローバルに、大きな環境的、社会的メリットをもたらすことを確保できる。効果的に用いられれば、調達によって、優れた公共サービスをより効果的かつ効率的な方法で実現しつつ、財政的な節約を行うことでも、都市を支援することができる。

10. 持続可能な広域自治体間連携

地域とサブナショナルは、グローバルな持続可能性の推進に重要な役割を果たす。さらに、持続可能性原則と協調した自身の政策、計画イニシアティブによって、管轄境界内の都市と市政機関にとっての能力付与の枠組み条件を提供し、その代表力を使って国レベルで影響を広げる。

都市－地域協力と、都市－農村の相互作用は、地方、地域、サブナショナルレベルでの持続可能性を進めるために必要な状況を構築する。公共輸送、地方および地域のエネルギー生成、資源フロー、食料システム、生産的な都市－地域および都市の計画作りは、アプローチがより広い機能領域で行われた場合に最も成功することが多い。

多レベルのガバナンスは、異なったレベルの政府がそれぞれの多様な責任を、共有された方向に向かって執行できるようにするメカニズムである。こうした調整、さらには政策実施の垂直な統合が、持続可能性目標の達成には不可欠である。

私たちのビジョン

全てのレベルにおける非中央政府ならびに広域自治体および大都市主体は、独自の政策や計画によって、さらに都市間や周辺地域との広域的な連携を通じて、持続可能性を推進する

このビジョンに到達するためのICLEIのアプローチ

ICLEIのアプローチは3つの核となる原則にもとづく。

- **地域およびサブナショナルレベルでの持続可能性アジェンダ：**地域およびサブナショナルのアクターは、持続可能性計画の開発と実施のための能力構築と支援プログラムの拡大を働きかけられ、援助を提供される。
- **能力を付与する地域の枠組み状況：**地域政府の構成要素である都市と地方自治体は支援を必要としている。ICLEIは政策、プログラム、財政的インセンティブ、能力構築を可能にし、より高レベルの政府が、地方自治体のアクターの行動を求め、可能にし、推進し、モニターするイニシアティブを始めるよう働きかける。
- **都市－地域の協力：**都市の協力と調整を促進する新たなガバナンスモデルが、天然、社会、環境資源の生成、保護、公正な使用を進めるための前提条件となる。土地の配分、水の使用、食物、輸送、財政フロー、大規模インフラへのイニシアティブは、共に、持続可能な組織することが可能な優先事項のうちのいくつかの例でしかない。効果的で正当な都市－地域の協力モデルの開発と拡張が支持され、その後の結果が分析され、共有されるのは、これを頭置いてのことである。

持続可能な地域のための新たなイニシアティブ 2015-2021

ICLEI は、

- ◇ 地域およびサブナショナルレベルでの持続可能性アジェンダのための地域ガバナンスパッケージを開発する。
 - ◇ ICLEIのネットワークに参加する地域政府のためのユニークなパッケージと、地方の状況に合わせたサービスのパッケージを提供し、そうした政府がグローバルな持続可能性の推進に包含されていることを示す。こうした提供物によって、多様なレベルの能力構築とプロジェクト支援を通して、自らの管轄区域内の持続可能なつながりの構築と改善によって、地域政府が住民によりよく奉仕することが可能になる
 - ◇ ICLEI戦略アジェンダを地域の状況に合わせるよう努力し、それによって、サービス、ネットワーク作りの機会、技術支援が、さまざまな階層のサブナショナルによって、より明確に利用できるようになる。
異なったアプローチが追求され、ツールは地域規模での基本的な持続可能性の課題に合わせて調整される。
 - ◇ 省、州、郡、県、部、地域および同等のサブナショナル主体に手を差し伸べ、地方のアクターを含む、相互に連結され、地域化されたネットワークを設立、指導し、可能にし、地域を構成する地方自治体と都市のためのパッケージ化されたサービスである、状況に合わせた**支援プログラム**を立ち上げる。これらは地域政府とそれぞれの地方自治体とともに、立案、開発される。
 - ◇ 法的資格が十分でないサブナショナルをその能力を**共有**する位置にあるサブナショナルと結び付ける。
 - ◇ 周辺地域での経済的、社会的、環境的なマイナスの影響を生じない、都市の成長と開発の推進を目標に、都市ー地域協力についての**プロジェクト**を立案、着手する。
 - ◇ 特に大都市地域についての、都市ー地域関係の強化、向上を促進する**ガバナンスモデル**の立案と開発に貢献する。
- 地域の持続可能性と相互利益の推進を目標に、**都市化**の周辺地域への影響に関する**調査**を、促進、支援、共有する。
- ◇ 途上国と協力して、都市とその地域との結び付きを強化させ、政策の中で持続可能性を主流化する**能力**と、ガバナンス構造を**構築**する。
 - ◇ 第2階層のサブナショナルを会員の単位に位置づけ、これをメンバーに含む、国および国際機関との追加の**パートナーシップ**を設立する。
 - ◇ すべての**アドボカシー**のイニシアティブ、特に国際的な気候および生物多様性の議論、水資源保護、都市の持続可能な開発目標についての議論、ハビタット IIIのための準備について、省および州政府の声を代表する。
 - ◇ **中央政府と連動**して、サブナショナルのためのその持続可能性プログラムを支援する。
 - ◇ R20 (Regions of Climate Action)をパートナー組織として連携していく。

持続可能性のためのICLEI –地方自治体

誰？ (ICLEIとは誰か?)

ICLEIは、1,000を超える自治体のグローバルな非営利の連合体であり、地域の行動によってグローバルな持続可能性を普及させることをミッションとしている。

私たちは、16の地域事務局と250人以上のスタッフや専門家を有し、都市がグリーン経済とスマートなインフラによって、持続可能で、低炭素で、回復力があり、生物が多様で、資源効率性が高く、生産的で、健全で幸せになることを支援する。

世界の都市人口の20%以上が私たちの仕事から恩恵を受ける。

なぜ？ (私たちはなぜ今の仕事をしているのか?)

都市は、地域とグローバルの両方の視点から持続可能性の課題に取り組まなければならない場所である。都市と大都市地域は、成長、活動、イノベーションの中心であると同時に環境的および社会的変化を推進するものであるとともに、その変化の対象でもあり、緊急に必要なとされる持続可能性のソリューションを実行する大きな可能性を持っている。

都市のリーダーとして、地方自治体はローカルアクションを前進させる立場にある重要なアクターである。こうした難問に取り組むには、国際的な関与とすべてのレベルの行政の連携が求められる。これが、ICLEIが、地方自治体のグローバルな運動を推進する理由である。

私たちの10のテーマ別の都市アジェンダによって、私たちは、会員自治体が、サービス先の人々に（彼らの社会的、文化的な福利を向上させることで）、運営する場所に（グリーンで、包摂的で、生産的な経済の生成を通じた繁栄の確保によって）、その政策に（参加型で統合されたメカニズムを実行し、都市-農村のつながりを重視し、垂直的な統合と政府ステークホルダーとしてのグローバルな努力への参加によって）、プラスの影響を作り出すのを支援する。

何を？ (ICLEIは何を提供するのか?)

ICLEIは世界中の地方自治体およびサブナショナル政府に、次のような支援とアクセスを提供する。ネットワーク作りと相互交流の機会（会議、テーマ別のネットワーク、提携とプログラムを通じて）、確固とした知識と優良な実践事例、専門家とソリューション提供者、組織的能力構築と革新的、技術的、組織的、財政的、社会的ソリューションについてのコンサルタント業務、実際的な枠組みを伴った持続可能性についての情報と基準設定、方法論とツール、政府ステークホルダーとしての地方自治体の適切な評価、関与と権利拡大のためのグローバルなアドボカシーの実施。

どのように？ (ICLEIはどのようにミッションを達成するのか?)

ICLEIはグローバルな会員ネットワークと、関連分野の政治リーダー、実務家、専門家を結びつける。これは、ICLEIのグローバルネットワークが持つ中核的価値の一つで、私たちのミッション達成に向けた、地域的およびテーマ別のプラットフォーム、政策、ネットワーク、プログラムとプロジェクトの基盤となっている。

ICLEIとパートナーを組むことで、会員とその他のステークホルダーは自治体による世界最大の持続可能性ネットワークの累積された知見にアクセスすることができる。